

四日市市ホーランド管理事務所改築工事設計図

平成29年度

四日市市「ツラント」管理事務所改築 工事特記仕様書

Table with 2 columns: Section (e.g., 1. 共通仕様, 2. 特記仕様) and Content (e.g., 1. 工事場所 四日市市桜町9868, 2. 工事種目 改築工事).

Table with 2 columns: Section (e.g., 9 化学物質を発生する建築材料等, 10 特別な材料の工法) and Content (e.g., 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする.).

Table with 2 columns: Section (e.g., 20 完成引渡し後の点検, 21 随時検査) and Content (e.g., かし期間は、別に定めた特約(責任施工による保証期間など)を除き、四日市市工務課発注契約書に準拠する.).

Table with 2 columns: Section (e.g., 6 場所行もコンクリート杭地業, 7 砕石・砂、砂利捨コンクリート地業) and Content (e.g., コンクリートの設計基準強度、種別 (・A種 ・B種 ・図示による).)

Table with 2 columns: Section (e.g., 1. 保険及び保証, 2. 建設共済等) and Content (e.g., 建築工事保険 (保証証の写しを提出), 建設共済等 (加入証明書の写しを提出)).

Table with 2 columns: Section (e.g., 11 技能士, 12 施工の立ち会い等) and Content (e.g., 技能士 ※適用する ○適用しない (1.5.2), 12 施工の立ち会い等 下記事項は監督職員の立会検査を受けなければならない.).

Table with 2 columns: Section (e.g., 4 章 地盤工事, 5 既製コンクリート杭地業) and Content (e.g., 1. 適用基準 本特記事項に創別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する., 2. 施工記録 受注者は、杭の施工期間中は、1週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録をとりまとめ.).

Table with 2 columns: Section (e.g., 5 章 鉄筋工事, 6 章 コンクリート工事) and Content (e.g., 5 鉄筋の種類 種類(表5.2) (表5.2.1), 6 章 コンクリート工事 種類 ※Ⅰ類 ・Ⅱ類 (6.2.1)(6.4.1)(6.4.2)(表6.2.1)).

※産業廃棄物 本工事は産業廃棄物相当分が計上されていないため、請負者が本工事により生じた産業廃棄物が、課税対象となった場合には、翌年度に産業廃棄物納税証明書等を添付して、本工事により生じた産業廃棄物相当分を請求することができる。

※暴力団等不当介入に関する事項 1. 契約の解除 四日市市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱(平成20年四日市市告示第28号)第3条又は第4条の規定により、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づき入札参加資格停止措置を受けたときは、契約を解除することができる。

2. 暴力団等による不当介入を受けたときの義務 (1) 不当介入には、断固拒否するとともに、速やかに警察へ通報並びに業務発注所へ報告し、警察への検査協力を行うこと。(2) 契約の履行において、不当介入を受けたことにより、業務遂行に支障が生じたり、納期等に遅れが生じるおそれがあるときは、業務発注所と協議を行うこと。(3) (1)(2)の義務を怠ったときは、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づき入札参加資格停止等の措置を講ずる。

※提出書類はA4版とする。

Architectural specification document for a building project. The document is organized into 13 chapters (1-13) covering various construction items. Chapter 8 (Reinforcement) details concrete reinforcement and formwork. Chapter 9 (Waterproofing) covers waterproofing methods for floors, walls, and roofs. Chapter 10 (Flooring) discusses floor construction and materials. Chapter 11 (Roofing) covers roof waterproofing and construction. Chapter 12 (Woodwork) details wood finishing and joinery. Chapter 13 (Interior Finishes) covers wall and ceiling treatments. Each chapter includes specific material specifications, construction methods, and performance requirements. The document is a technical drawing used for construction bidding and execution.

14章 金属工事	3 とい材料	鋼とい材料 ※硬質塩化ビニル管カラー(VP) ・配管用鋼管 (13.5.2)(表13.5.1) 軒とい材料 ※硬質塩化ビニル雨どい ・表面処理鋼板 ・ステンレス鋼板 とい受け金物 材料 ※ステンレス製の市販品 ・ 取付ピッチ ※表13.5.2による	16章 建築工事	1 防火戸	・防火戸(建築基準法に基づく認定) ・有り ・無し (16.1.3) ・防火戸の自動閉鎖装置及び防火戸の煙感知器との連動装置 ※図示	14 重量シャッター	形式 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター (16.11.2) ・扉内用防火シャッター ・防煙シャッター ・ 開閉形式 ・上部電動式(手動併用) ・上部手動式 (表16.11.1) 外部に面するシャッターの耐風圧性能 () N/m ² 防火又は防煙シャッターの危害防止機構 ※被害感知装置(自動閉鎖型) ※「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」に定める基準に適合するもの。 シャッターケース(防火・防煙以外のもの) ・設ける ・設けない	7 耐候性塗料塗り(DP)	・鉄鋼面 工法は、標準表18.7.1 (18.7.2)(表18.7.1) ・亜鉛めっき面 工法は、標準表18.7.2 (18.7.3)(表18.7.2) 上塗塗料 ・ JISK5659(1級) ふっ素系樹脂塗料 ・ JISK5659(2級) シリコン系樹脂塗料 ・ JISK5659(3級) ホリウレタン系樹脂塗料
	4 鋼管製の防露巻き	※行方 防露材 ※標準表13.5.4による (13.5.2)(表13.5.4) 防露巻き工法 ※標準表13.5.5による (13.5.3)(表13.5.5) 施工箇所 () ・行わない	2 見本の製作等	・特殊な建具の取付(建具番号) (16.1.4)	15 軽量シャッター	開閉形式 ※上部電動式(手動併用) ・手動式 (16.12.2)(表16.12.1) スラット 材質 ※塗装済亜鉛めっき鋼板 ・ 厚さ ①0.5 ②0.8 形状 ・インターロック型 ・オーバーラッピング型 外部に面するシャッターの耐風圧性能 () N/m ²	8 つや消成樹脂エマルジョンペイント塗り(E-P-G)	・コンクリート面、押出成型セメント板面 工法は、標準表18.7.3 塗料は(・A種 ・B種 ・C種)とする (18.7.4)(表18.7.3) 上塗塗料 ・ JISK5658 主要原料 ふっ素樹脂(1級) ・ JISK5658 主要原料 シリコン系樹脂(2級) ・ JISK5658 主要原料 ホリウレタン樹脂(3級)	
	1 ステンレスの表面仕上げ	表面仕上げの種類 (14.2.1) 種類 施工箇所 ※H.L.程度 下記以外の見本冊子全て ・No.2程度 ・鏡面仕上げ ・鏡面仕上げ(No.8)	3 アルミニウム製建具	外部に面する建具(フロントサッシは除く) (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1) 種類 耐風圧性 気密性 水密性 枠深さ(mm) 施工箇所 ・A種 S-4 ※A-3 ※W-4 ※70 ※図示 ・B種 S-5 ・C種 S-6 ・A-4 ・W-5 100 表面処理 ※B-1種 ・B-2種(・ブラス系 ・ブラス ・スチール系)	16 その他のシャッター	・リングリルシャッター ・パイプ及びリングの種類 ※ステンレス(SUS304) ・ ・スライディングドア ・アルミ ・スチール(須防合成品)	9 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(E-P)	・コンクリート面、鉄鋼面、ブラス面、せっこうボード面、その他のボード面 工法は、A種 ※B種 (18.8.2)(表18.8.1) ・木部 工法は、標準表18.8.2 (18.8.3)(表18.8.2) ・鉄鋼面 工法は、A種 ※B種 (18.8.4)(表18.8.3) ・亜鉛めっき鋼面 工法は、標準表18.8.4 (18.8.5)(表18.8.4)	
	2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	処理の種類 (14.2.2)(表14.2.1) 種類 施工箇所 ・B-1種 ・B-2種(・ブラス系 ・ブラス ・スチール系) 表面処理の膜厚試験 ・行方 ・行わない	4 網戸	・防音建具 遮音性の等級 ・ ・断熱建具 断熱性の等級 ・ ・耐震建具 面内変形追従性の等級 ・	17 オーバーヘッドドア	セクション材料 ※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ (16.13.2) ・ファイバークラスチック 開閉方式 ※バランスタイプ ・チェーン式 ・電動式 ガイドレール ※ステンレス鋼板 ・溶接亜鉛メッキ鋼板 耐風圧性能 () N/m ²	10 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(E-P-T)	・コンクリート面、鉄鋼面、ブラス面、せっこうボード面等 工法は、A種 ※B種 (18.10.2)(表18.10.1)	
	3 鉄鋼の亜鉛めっき	亜鉛めっきの種類 (14.2.3)(表14.2.2) 表面処理方法 種類 施工箇所 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種 表面処理の膜厚試験 ・行方 ・行わない	5 樹脂製建具	使用方法 ※可動式 ・固定式 (16.2.3) 網の種類 ①合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ※ステンレス(SUS316)製 網目 ※16~18メッシュ 防鳥網 ※ステンレス(SUS304)線材	18 ガラス	ガラス材料 建具表による (16.14.2) ガラスブロック 形状寸法 ガラスの色 ・無色 ・着色() 模様による種類 ・拡張ガラスブロック ・相向ガラスブロック ガラスの留め材 種類(区分は図示による) ①シーリング材(SR-1 シリコン系) ・ガスケット	11 ウレタン樹脂ウニス(U-C)	表面仕上げの種類 ※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ＜製造所名(製品名)＞ 工法 ・A種 ※B種 (18.11.2)(表18.11.1)	
	4 軽量鉄骨天井地下地材料	屋内 ※19形 (14.4.2)(表14.4.1) 屋外 ※25形	6 鋼製建具	・簡易気密型ドアセット 適用箇所： 気密性 ※A-3 水密性 ※W-1 (16.4.2) 鋼板の厚さ(mm) ※標準表16.4.2による	19 ガラスフィルム	品名は JIS A 5759 による。 名 称 種類 送り面 性能等 施工箇所 ※ガラス飛散防止 第2種 ※内面 ※飛散防止率D-1 フィルム ※外面	12 ラッカー塗塗り(LE)	木部 工法は、A種 ※B種 (18.12.2)(表18.2.1)	
	5 軽量鉄骨地下地材料	スタッド、ランナーなどの種類 (14.5.3)(表14.5.1) ・50形 ・65形 ・90形 ・100形 ※標準表14.5.1による	7 鋼製軽量建具	・簡易気密型ドアセット 適用箇所： 気密性 ※A-3 (16.5.2) 召合せ、緩小口包み板などの材種 ※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の押出型材 鋼板の厚さ(mm) ※標準表16.5.1による (16.5.4)(表16.5.1)	1 性能	・耐風圧性 () (17.1.1) ・耐酸性 () (17.1.2) ・水密性 () (17.1.3) ・気密性 () ・耐火性 () ・耐温度差性 () ・遮音性 () ・断熱性 () ※製造所標準仕様による 製品の許容差 ※表17.2.1 表17.3.1による (17.2.3) 製品の見え掛り部分の仕上げ (17.2.3)	13 木部保護塗料塗り(WP)	木部 工法は標準表18.13.1による (18.13.2)(表18.13.1)	
	6 金属成形板張り	形状 製法 材種 寸法(mm) 厚さ(mm) 表面処理 ・メッシュ形 ・押し出し ・アルミニウム製 ・ロール ・パネル形 ※プレス 伸縮継手 ※設けない ・設ける(施工箇所は図示) (14.6.3) 取付下地 ※屋内19形 ※屋外25形 野縁間隔 ・300mm ・360mm	8 標準型鋼製軽量建具	・製造所の仕様による (16.5.6)	2 材料、形状及び仕上げ	主要取付部材の取付許容差 ※表17.2.3 表17.3.2による (17.2.5)(17.3.5)	14 木材保護塗料塗り(WP)	・ビニル床シート (19.2.2) 種類 JISの記号 色 柄 厚さ(mm) ※塗層の厚さ(mm) ※FS ・無地 ※マーブル ※2.0mm ・2.5mm ※塗層のあるもの ※断熱 ・無地 工法 ※熱溶接工法 ・実付け(施工箇所) (19.2.3) 接着剤 ※標準表19.2.1による ・エポキシ、ウレタン樹脂系 () (19.2.2)	
	7 アルミニウム製窓木	種類 厚さ(mm) 表面処理 固定箇所 備考 ・250形 1.6以上 ※A-1種又は B-1種 固定方法及び開閉は品 隅角部等の設物は 本体製造所の仕様 による。 ・300形 1.8以上 B-1種 ・350形 2.0以上 ・B-2種	9 ステンレス製建具	ステンレス鋼板 ※SUS304 ・SUS430J1 ・SUS443J1 ・SUS430 (16.6.3) 鋼板の厚さ(mm) ※標準表16.6.1による (16.6.4)(表16.6.4) 表面仕上げ ※H.L. (16.6.4) 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強あり) (16.6.5)	3 取付		15 ビニル床シート、ビニル床タイル張り	○ビニル床タイル (19.2.2) 種類 JISの記号 厚さ(mm) 備考 ※無地ビニル床タイル TT ※2.0 ・複層ビニル床タイル FT ・コンポジションビニル床タイル KT 接着剤 ※標準表19.2.1による ・エポキシ、ウレタン樹脂系 () (19.2.2)	
	8 手すり及びタラップ	種類 材料の種類 表面処理 手すり ※ステンレス(SUS304) ※線L程度 ・鏡面程度 ・ ・鉄 亜鉛めっき 外部 ※C種 ・ 内面 ※E種 ・ ※ステンレス(SUS304) ※研磨無し タラップ ・鉄 亜鉛めっき 内外部 ※C種	10 木製建具	建具材の含水率による種類 (16.7.2)(表16.7.1) ・A種 ※B種 ・C種 フラッシュ戸 かまち、中骨の仕様 ※標準表16.7.2による ・標準表16.7.2のむく材とする 表面材 ※普通合板 ・難燃合板 ・特殊合板 ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種 ※接着の程度は、水田かりを1種、その他を2種とする。 ・かまち戸 かまち () 鋼板 () (16.7.3) ・ふすまの材料 ※標準表16.7.3 (表16.7.3) ・ふすまの上張りの種類 ※新鳥の子 (押入れ内は雲花紙とする) ・ふすまの縁の仕上げ ※塗り縁(カシウ・塗料2回塗り) ・生地縁(※ウレタンクリヤー塗装 ・糸地)	1 材料	・扉内の壁及び天井の塗装仕上げは、防火材料とする。 (18.1.3) ・次の箇所を除き防火材料とする。() 建具内部に使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種	19 内装工事	・接着剤 ※標準表19.2.1による ・エポキシ、ウレタン樹脂系 () (19.2.2)	
	15章 左官工事	1 モルタル塗り	防水モルタル 防水剤は下記製造所の製品とする。 (15.2.2) シフカー建設防水工業(シフカー液B号) セントラル工業(シーアイシー防水剤) ボース(ボース防水剤) 日本セメント防水剤製造所(ウォータイトB号) マノール(マノール防水剤) 防水剤は、メチルセルロース等の水溶性樹脂とする。 吸水性の品質 ※表15.2.2による	11 雑具用金物	金物の見出し部の材質 ※標準表16.8.1による (16.8.2)(表16.8.1) モノロック ゴール(UH) 美和ロック(U9HK) シンジローザ錠 ゴール(AS) 姫商店(No.1110,1171) 美和ロック(U9HM, LH, LA) シンジローザ錠 ゴール(HD) 美和ロック(U9BH, DA) 姫商店(No.1131) ヒンジローザ錠 ※T型型 ・内蔵型 押板、とっ手 樹脂工業 ユニオン	2 各面の素地ごしらえ	木部 不透明塗料塗り ※A種 透明塗料塗り ※B種 (18.2.2) 鉄面、亜鉛めっき面 (18.2.3)(18.2.4) 鉄面種類 ・A種 ・B種 ※C種 (表18.2.2) 亜鉛めっき面種類 ・A種 ・B種 (表18.2.3) モルタル及びプラスタ一面 種類 ・A種 ※B種 (表18.2.4) コンクリート、A.L.Cパネル及び押出成型セメント板面 標準表18.2.6(a)の種類 種類 ・A種 ※B種 (表18.2.5) 標準表18.2.6(b)の種類 種類 ・A種 ※B種 (D.P.の場合) (表18.2.6) 石こうボード及びその他ボード面 種類 ※A種 ・B種 (18.2.7) 雑目処理工法 種類 ※A種 ・B種 (表18.2.7) その他 種類 ※B種	2 接着剤	壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種
	2 セルフレング材	種類、品質 ※標準表15.4.1による。 (15.4.2)(表15.4.1) 種類 厚さ(mm) 施工箇所 ※セメント系 ※10 ・せっこう系	12 自動ドア開閉装置	マスターキーについては下記による。 (16.8.4) ・グループ及びブランドマスターキーを製作し、建具に整理し提出する。 ・マスターキーを製作し、建具に整理し提出する。 ○一般キー(マスターキー設置付)のみパネルに整理して提出する。 ・一般キー(マスターキー設置なし)のみパネルに整理して提出する。 ・鍵箱 既製品(・30個用 ・60個用 ・120個用)	3 さび止め塗料塗り	塗料種類 鉄鋼面 ※A種 () ・B種 (表18.3.2) 鉄鋼面 ※A種 () ・B種 (表18.3.1) 亜鉛めっき鋼面 ※A種 ・B種 (表18.3.2) 亜鉛めっき鋼面 ※A種 () ※C種 (表18.3.3) 鉄鋼面 見え掛り(※A種 ・) その他(※B種 ・) (表18.3.3) 亜鉛めっき鋼面 鋼製の建具(※A種 ・) その他(※B種 ・) (表18.3.4)	3 カーペット敷き	(19.3.3)(19.3.4)(表19.3.1~2) 施工箇所 種類 種類 色 柄 敷込み工法 帯巻防止 ・タフテッド ※無地 ・柄物 ※グリッパー ・行方 ・行わない ・タフテッド ※無地 ・柄物 ※グリッパー ・行方 ・行わない 施工箇所 種類 種類 厚さ ラバーの有無 ・ニードルパンチ ・有り ・無し 下敷き材(・なし ・有り) JIS L 3204(反毛フェルト) 第2種 厚8mm 耐電性 ※人体帯電圧3kV以下	
	3 仕上塗材仕上げ	種類 呼称 仕上の形状 ・薄付仕上げ塗料 ・外装塗料E ・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 ・内装塗料E 砂壁状じゅうく ・可とう形外装塗料E ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざなみ状 ・防水形外装塗料E ・ゆず肌状 ・さざなみ状 ・凹凸状 ・外装塗料S ・砂壁状 ・複層仕上げ塗料 ・複層塗料CE ・ゆず肌状 ・凸凹処理 ・凹凸状 ・可とう形複層塗料CE 上塗材 ・複層塗料E ・水系アクリル ・複層塗料RE ・水系アクリルシリコン ・防水形複層塗料CE ・防水形複層塗料E 外装 ※つやあり ・つやなし ・防水形複層塗料RS ・メタリック	13 自閉式上吊り引き戸装置	性能 ※標準表16.10.1 (16.10.3)(表16.10.1)	4 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	※合成樹脂調合ペイントの1種 () (18.4.2) ・合成樹脂調合ペイントの2種 () (18.4.3)(表18.4.1) ・木部 工法 屋外(※A種 ・) 屋内(※B種 ・) (18.4.4)(表18.4.2) ・鉄鋼面 工法 ・A種 ※B種 (18.4.5)(表18.4.3) ・亜鉛めっき鋼面 工法は、標準表18.4.3	4 合成樹脂塗り床	(19.4.2)(表19.4.1~表19.4.7) 種類 仕上げの種類 ・薄性ウレタン塗り床材 ※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ ・エポキシ樹脂塗り床材 ※薄膜塗し膜仕上げ ・厚膜塗し膜仕上げ(※平滑 ・防汚) ・樹脂モルタル仕上げ(※平滑 ・防汚) ・防汚仕上げ	
					5 クリアラッカー塗り(C.L.)	・木部 工法 ・A種 ※B種 (18.5.2)(表18.5.1)	5 フローリング張り	(19.5.2~19.5.7)(表19.5.1~表19.5.4) 種類 樹種 工法 仕上げ塗装等 ※天然木化粧合フローリング ※なら ※釘どめ工法(C種) ※塗装品 ・単層フローリング ・ひのき ・接着剤併用釘留め ・モザイクパーケット張り	
					6 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	工法 ・A種 ※B種 (18.6.2)(表18.6.1)		ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種	

四日市ｽｰﾗﾝﾄﾞ管理事務所改築工事（解体）特記仕様書													
<p>総 則</p> <p>工 事 概 要</p> <p>1. 工事場所 四日市市桜町9868</p> <p>2. 工事種目 鉄骨造平屋建て 約 116 m² 解体</p> <p>1. 共通仕様</p> <p>(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書・同解説(平成24年版)」(以下「解体共通仕様書」という。)による。</p> <p>2. 特記仕様</p> <p>(1) 項目は、○印の付いたものを適用する。</p> <p>(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。</p> <p>○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。</p> <p>○印と※印の付いた場合は、共に適用する。</p> <p>(3) 特記事項に記載の [. . .] 内表示番号は、解体共通仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>(4) 特記事項に記載の (標 . . .) 内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>部分完成 ○無 ・有 ()</p> <p>部分引渡し ○無 ・有 ()</p> <p>1) 保険及び保証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設工事保険 (保険証の写しを提出) ○請負業者賠償責任保険 (保険証の写しを提出) (○管理財物担保特約に加入のこと) ・任意にて加入 <p>2) 建設共済等</p> <ul style="list-style-type: none"> 下記の制度について加入すること。 ○法定外労災保証制度 (加入証明書の写しを提出) ○建設業退職金共済制度 当初の請負金額が500万円以上の場合は、掛金収納書を提出すること。また、増額の契約変更があった場合についても、その分を提出すること。 共済証紙購入額 請負金額の 0.8/1000以上 <p>なお、他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要がない場合は、理由書の提出をもって共済証紙の購入を不要とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・任意にて加入 <p>※資材の購入及び下請け業者の選定に際しての留意事項</p> <p>資材の購入及び工事の一部を下請け業者にて施工する場合、業者の選定に際しては、出来る限り市内業者を優先させること。</p>		<p>5章 特別管理産業廃棄物等の処理等</p> <p>① 施行調査 特別管理産業廃棄物等の調査 ・ 行う ○行わない [5.1.3]</p> <p>② 特別管理産業廃棄物等の処分等 特別管理産業廃棄物等の処分等 ・ 行う ○行わない [5.4.1]</p> <p>③ PCBを含む機器類 微量PCBの分析調査 ・ 行う ・ 行わない [5.4.3]</p> <p>④ PCB含有シーリング材 分析調査及び撤去 ・ 行う ・ 行わない [5.4.4]</p> <p>⑤ 廃油 ・ 焼却処分 ・ 中間処理施設での再生処理 [5.4.5]</p> <p>⑥ 廃酸・廃アルカリ ・ 中和処理 ・ 焼却処分 ・ 中間処理施設での再生処理 [5.4.6]</p> <p>⑦ ダイオキシン類 サンプリング調査 ・ 行う ・ 行わない [5.4.7]</p>		<p>6章 アスベスト含有建材の除去等</p> <p>① 適用範囲 (アスベスト含有 無) 建設設備に使用されているアスベスト含有建材の処理 ○ 行う ・ 行わない [6.1.1]</p> <p>② 施行調査 分析による調査 ・ 行う ○行わない [6.1.3]</p> <p>③ アスベスト粉じん濃度測定 濃度測定 ・ 行う ○行わない [6.1.4]</p> <p>④ 工法 ※ 除去方法は6.3.2(a)による。 ・ その他の工法 () [6.3.2]</p> <p>※ 飛散防止方法は6.3.2(b)による。 ・ 固定化 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>⑤ 除去したアスベストの処理等 処分方法 ○埋立処分 ○中間処理 [6.3.3]</p>		<p>7章 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外構工事については、『公共建築工事共通仕様書平成28年度版』による。 ○アスファルト舗装は、特記仕様書4による ○特殊な建設副産物 (7.3.1) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○フロン</td> <td>空調機</td> </tr> <tr> <td>・ハロン</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>空調機のフロン回収を行う</p>		種類	適用箇所	○フロン	空調機	・ハロン	
種類	適用箇所												
○フロン	空調機												
・ハロン													
<p>1章 一般共通事項</p> <p>① 工事実績情報の登録 ※請負金額が 500万円以上の場合は、登録を行う。 [1.1.4]</p> <p>※工事の各記録写真については、デジタル画像にて整備編集を行うように努めること。</p> <p>② 工事の記録 ※工事写真については以下による。(編集工程写真はA4版程度) [1.2.3]</p> <p>※工事着工前 1部</p> <p>※工程写真 各工程毎に編集の上提出 1部</p> <p>※竣工写真 2部</p> <p>※工事の各記録写真については、デジタル画像にて整備編集を行うように努めること。</p> <p>③ 電気保安技術者 ○適用する ・ 適用しない [1.3.3]</p> <p>事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者又はこれと同等の知識及び経験を有する者とする</p> <p>一般電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第一種又は第二種電気工事士の資格を有する者とする</p> <p>④ 施工条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事用車両の駐車場及び資機材置場 ※敷地内 (1.3.5) ・ 仮囲い等については利用者等の安全上、使用上支障が無いように計画し、維持管理に努めること ・ 工程計画については、関係者等と十分に調整を行ったうえで進めること。 ・ 施工作业時間は原則 月～土 8:30～17:00とすること。 作業休日 : 日曜・祝日 ・ コンクリートの解体は、原則として、圧砕機を使用すること。 ・ 工事に係る法令手続きは受注者にて行なうこと。 ・ 手続きにかかる手数料は受注者の負担とする。 ・ 工事用電源は構内施設 ○利用できる (・有償 ○無償) ・ 利用できない ・ 工事用水は構内施設 ○利用できる (・有償 ○無償) ・ 利用できない ・ 解体中は必ず散水を行い、埃の飛散に注意して施工を行うこと。 (解体に先立ちサッシ、内部残材等の撤去を行うこと) 		<p>2章 仮設工事</p> <p>① 騒音・粉塵等の対策 ※ 騒音、粉塵等の対策 [2.2.1]</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 防音パネルを隙間なく取付ける。 ○ 防音シートをジョイントの重ねと結束を十分に施す。 ・ メッシュ金網、養生シート等を隙間なく取付ける。 <p>なお、シート類は防炎処理されたものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 防音パネル等を取り付ける足場等の範囲 ※ 監督員の指示による。 <p>② 監督職員事務所等 ・ 設ける。(規模・備品等の設置は下記による) ○設けない [2.3.1]</p> <p>(・規模 10m程度 ・ 仕上げ:床、壁、天井 程度)</p>		<p>3章 解体施工</p> <p>① 杭 杭の解体 ・ 行う ○行わない [3.8.2]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引抜き工法 ・ 破砕による解体 <p>② 構内舗装等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 樹木等の伐採 ・ 行う ○行わない [3.9.1] ・ 樹木等の伐採抜根 ○ 行う ・ 行わない ・ 樹木等の移植 ・ 行う ○行わない <p>※ 対象樹木等は図示による。</p> <p>③ 地下埋設物等 地下埋設物及び埋設配管等の解体 ○ 行う ・ 行わない [3.10.1]</p> <p>④ 整地・埋戻し・盛土 解体後の埋戻し ○ 行う ・ 行わない [3.11.1]</p> <p>盛土 ・ 行う ○行わない</p>		<p>4章 建設廃棄物の処理</p> <p>① 再資源化等</p> <ul style="list-style-type: none"> 中間処理施設 (廃棄物の種別に応じ、許可を受けた施設) [4.4.1] 再資源化施設 (廃棄物の種別に応じ、許可を受けた施設) 蛍光灯管、HIDランプ ・ 行う ○行わない 硬質塩化ビニル管・継手 ・ 行う ○行わない 木材の縮減 ・ 行う ○行わない 現場での利用 ・ 行う ○行わない <p>2 産業廃棄物 広域認定制度 産業廃棄物の広域的処理 ・ 行う ・ 行わない [4.4.2]</p> <p>③ 最終処分 最終処分物 (引渡しを受ける物及び再資源化を行うもの以外の物) [4.4.3]</p> <p>最終処分場 (廃棄物の種別に応じ許可を受けた施設)</p> <p>4 処理に注意を要する 建設廃棄物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CCA処理木材 [4.5.1] ・ ひ素・カドミウム含有石膏ボード ・ 上記以外の石膏ボード ・ 最終処分 ・ 再資源化 							

※産業廃棄物税
本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が本工事により生じた産業廃棄物が、課税対象となった場合には、翌年度に産業廃棄物税納税証明書等を添付して、本工事により生じた産業廃棄物税相当分を請求することができる。

※暴力団等不当介入に関する事項
1. 契約の解除
四日市市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱第3条又は第4条の規定により、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止措置を受けた場合は、契約を解除することがある。

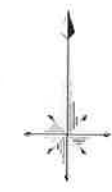
2. 不当介入に係る通報等の義務及び義務を怠った場合の措置
(1) 暴力団等による不当介入を受けた場合、次の義務を負うものとする。
・ 断固として拒否するとともに、速やかに警察へ通報並びに発注所属へ報告し、捜査上必要な協力をする事。
・ 契約の履行において、不当介入を受けたことにより工程、納期等に遅れが生じる等の被害が生じるおそれがある場合は、発注所属と協議を行うこと。
(2) 上記の義務を怠ったときは、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止等の措置を講ずる。

四日市ｽｰﾗﾝﾄﾞ管理事務所改築工事設計図

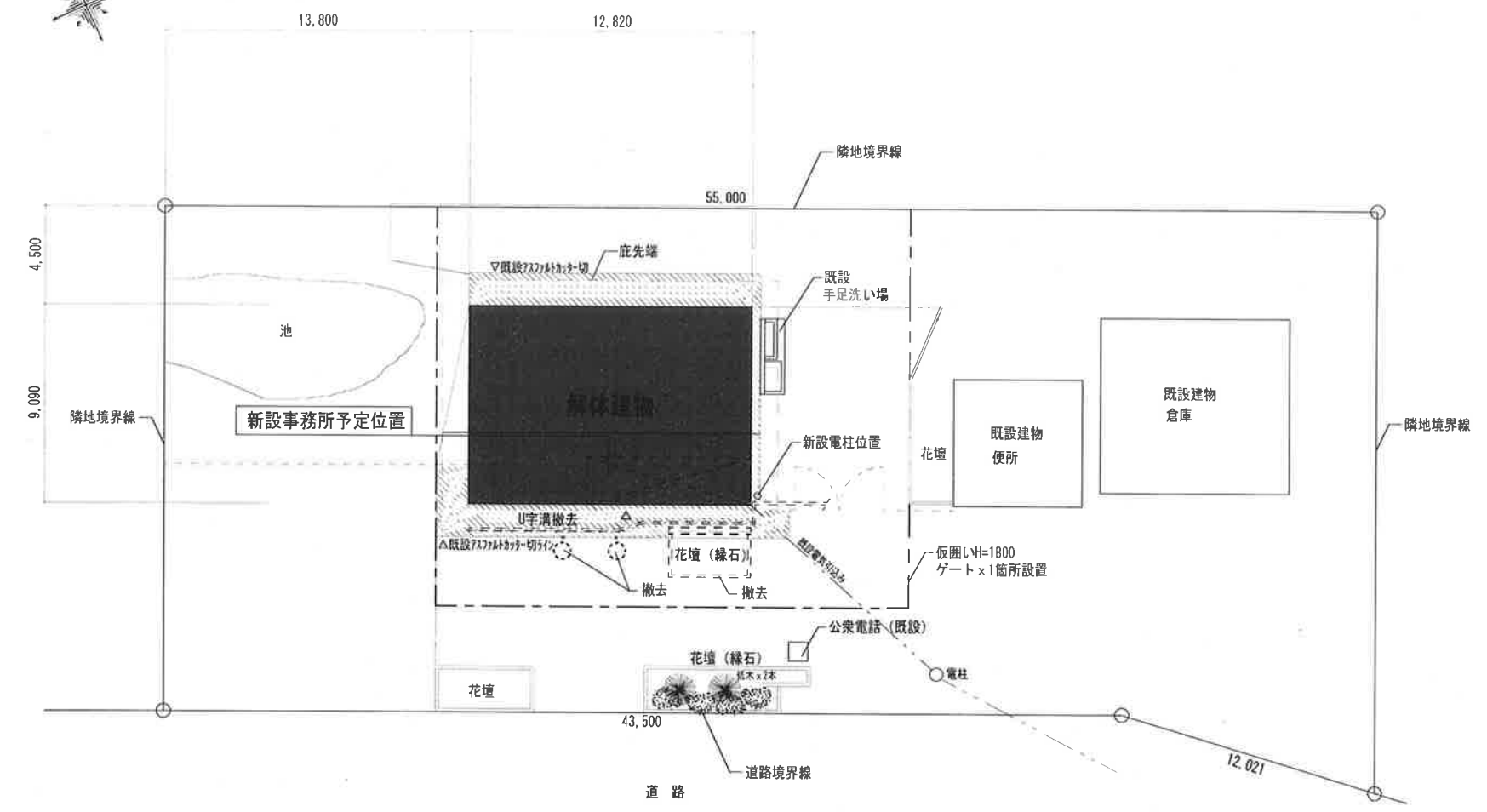
訂正：備考
※提出書類はA4版とする

宮田建築設計事務所
三重県四日市市日永西一丁目 28-3 Tel 059 (347) 7224
Fax 059 (347) 7227
三重県知事登録 1-537号 一級建築士 270497号 宮田 晴一

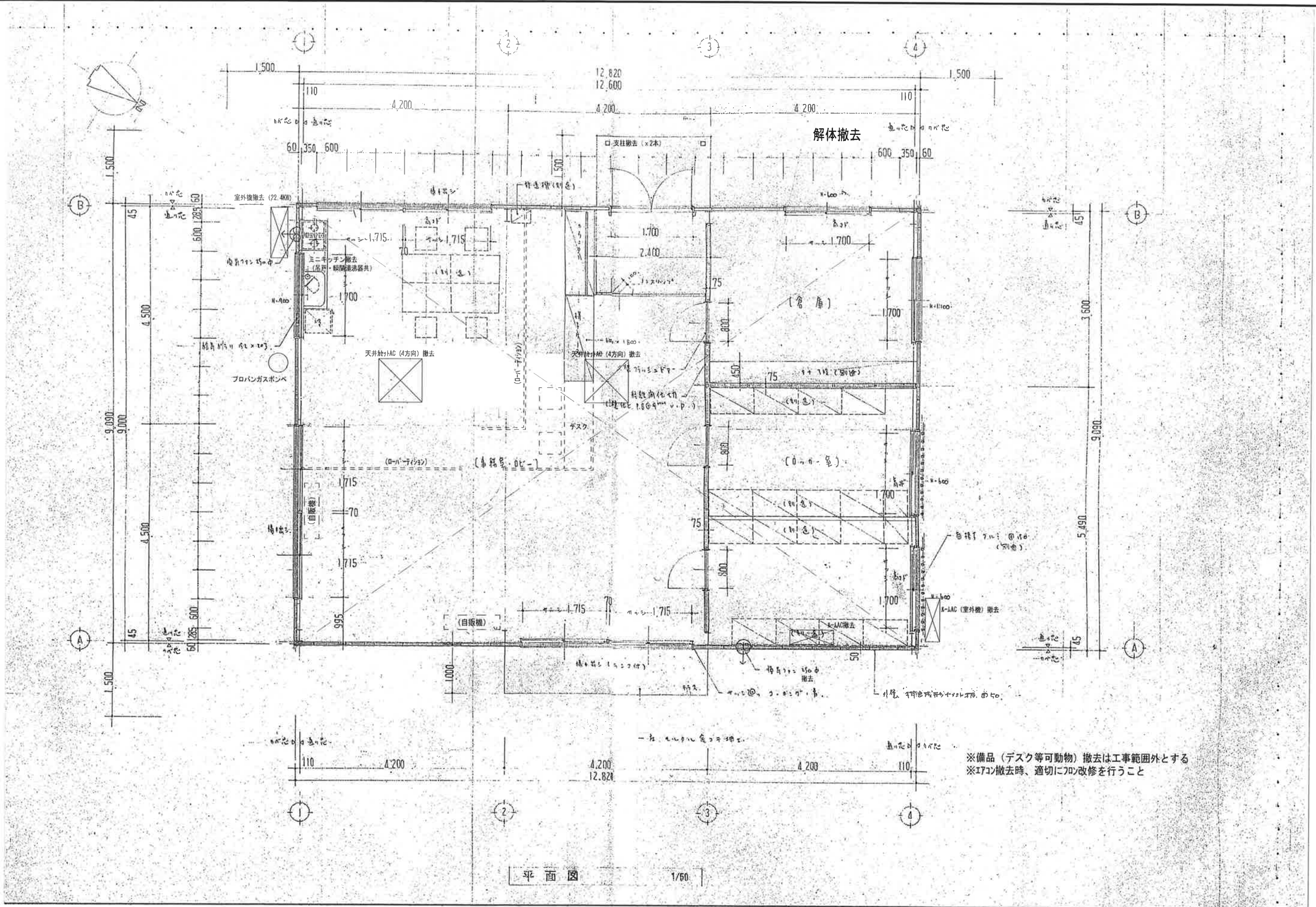
解体特記仕様書		Scale		no	
approved	Y.Niyata	check		drawn	Y.Niyata
		date		2017年 11月 15日	
					A-05



附近見取図

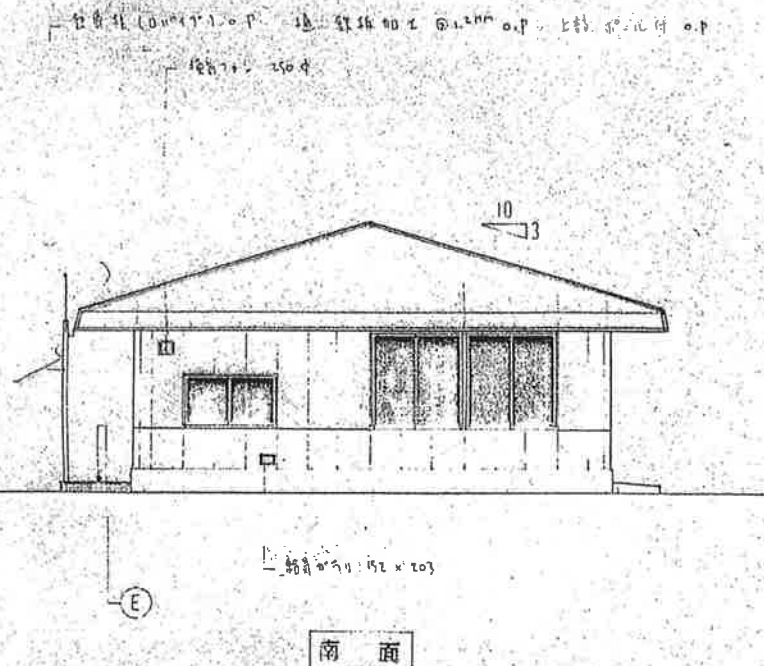
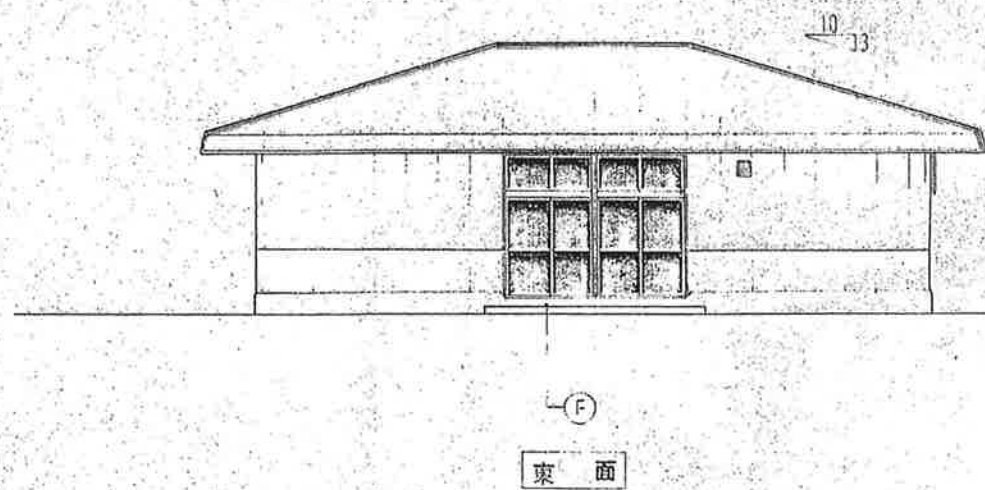
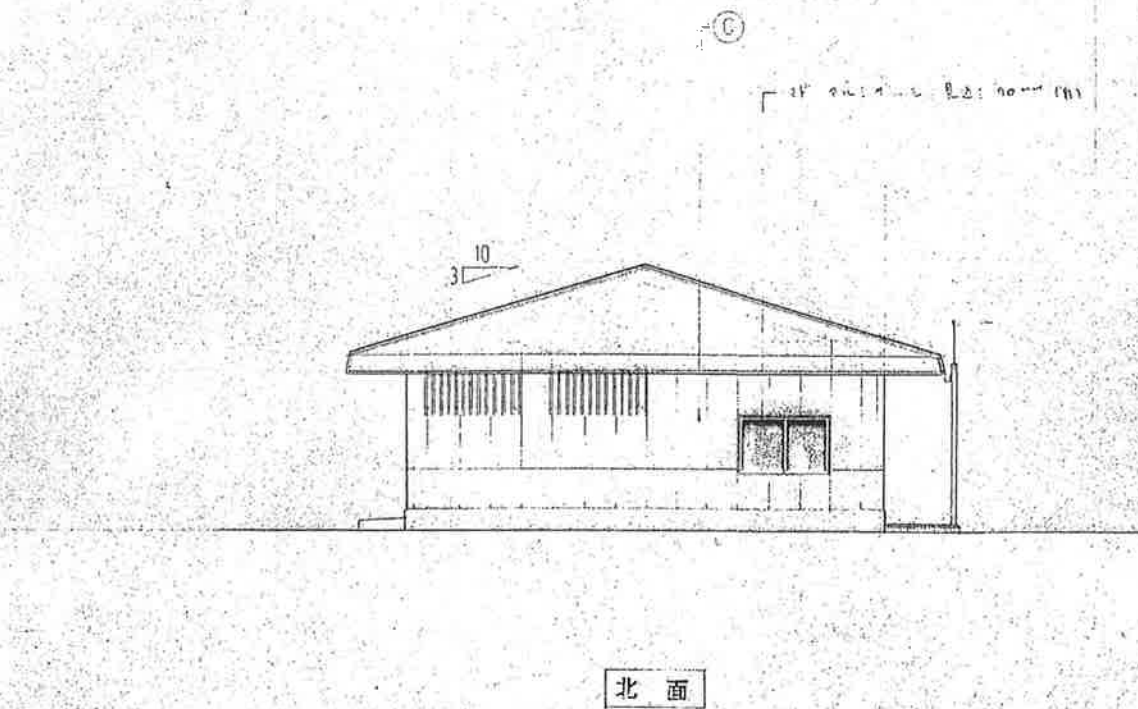
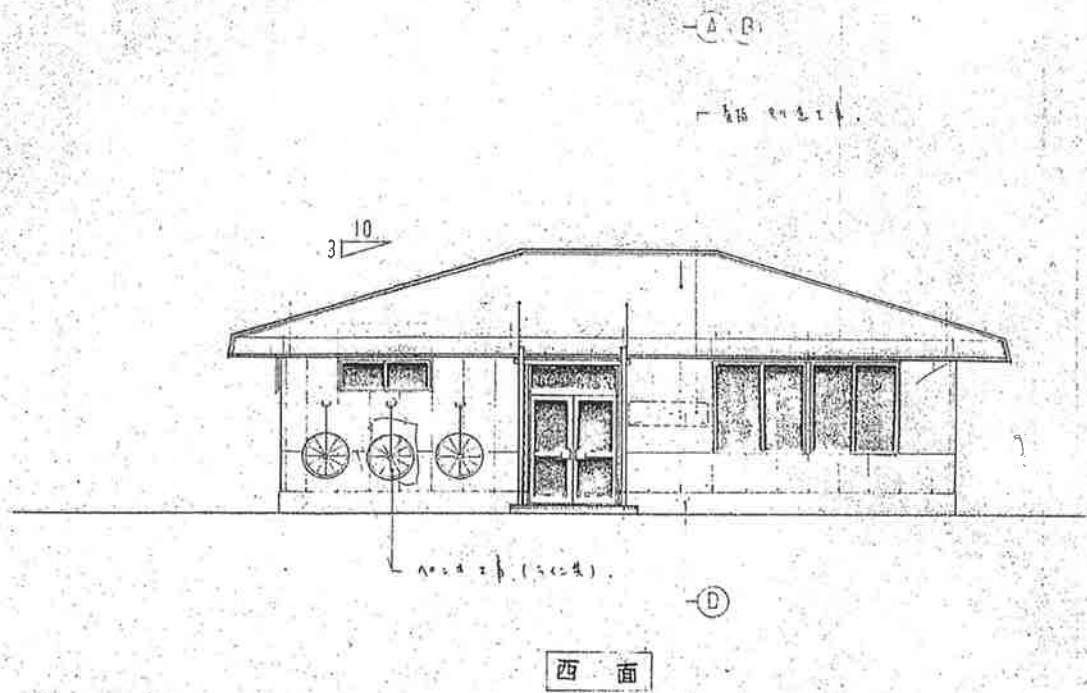


配置図 S:1/200



※備品 (デスク等可動物) 撤去は工事範囲外とする
 ※エアコン撤去時、適切にファン改修を行うこと

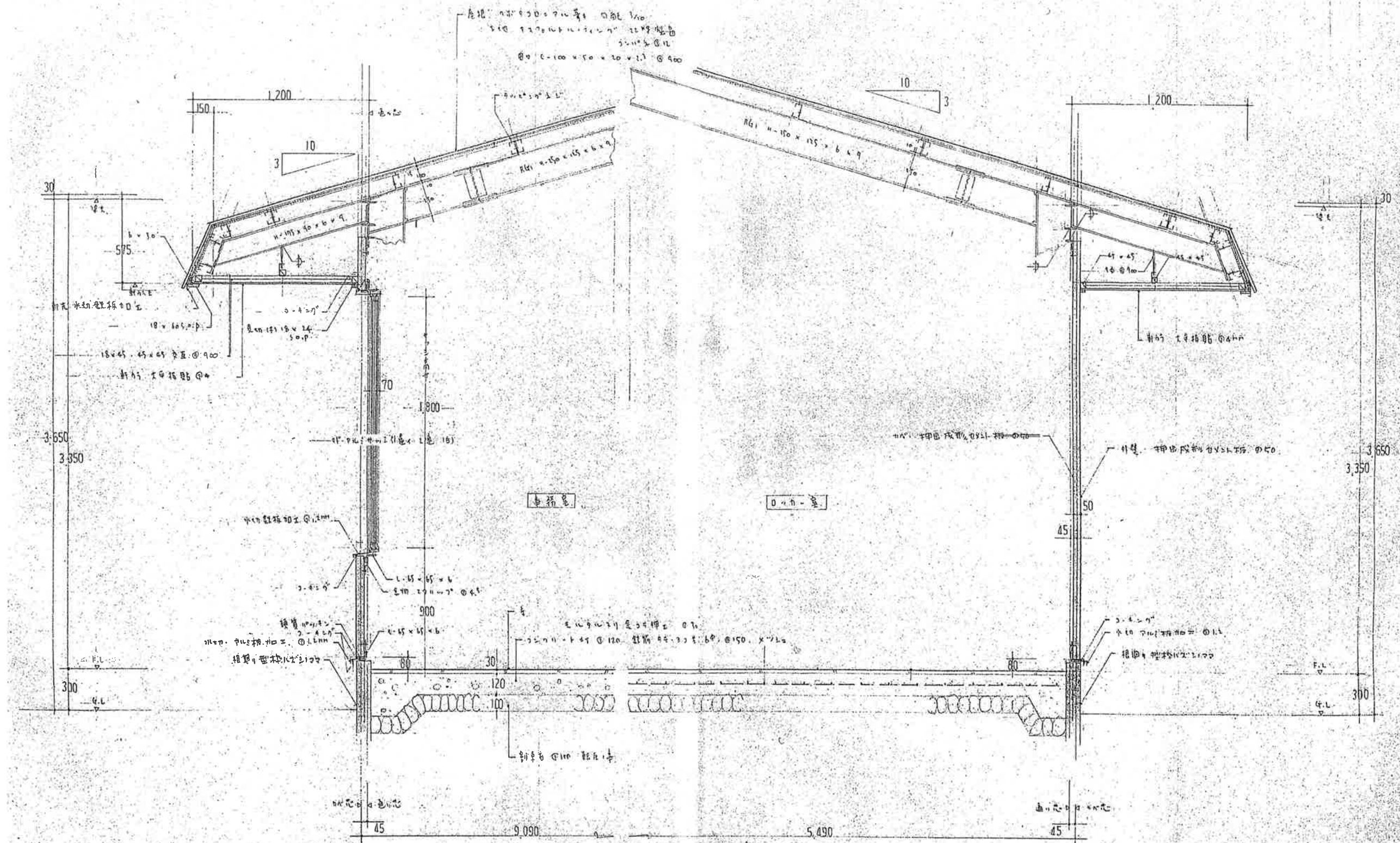
平面図 1/50



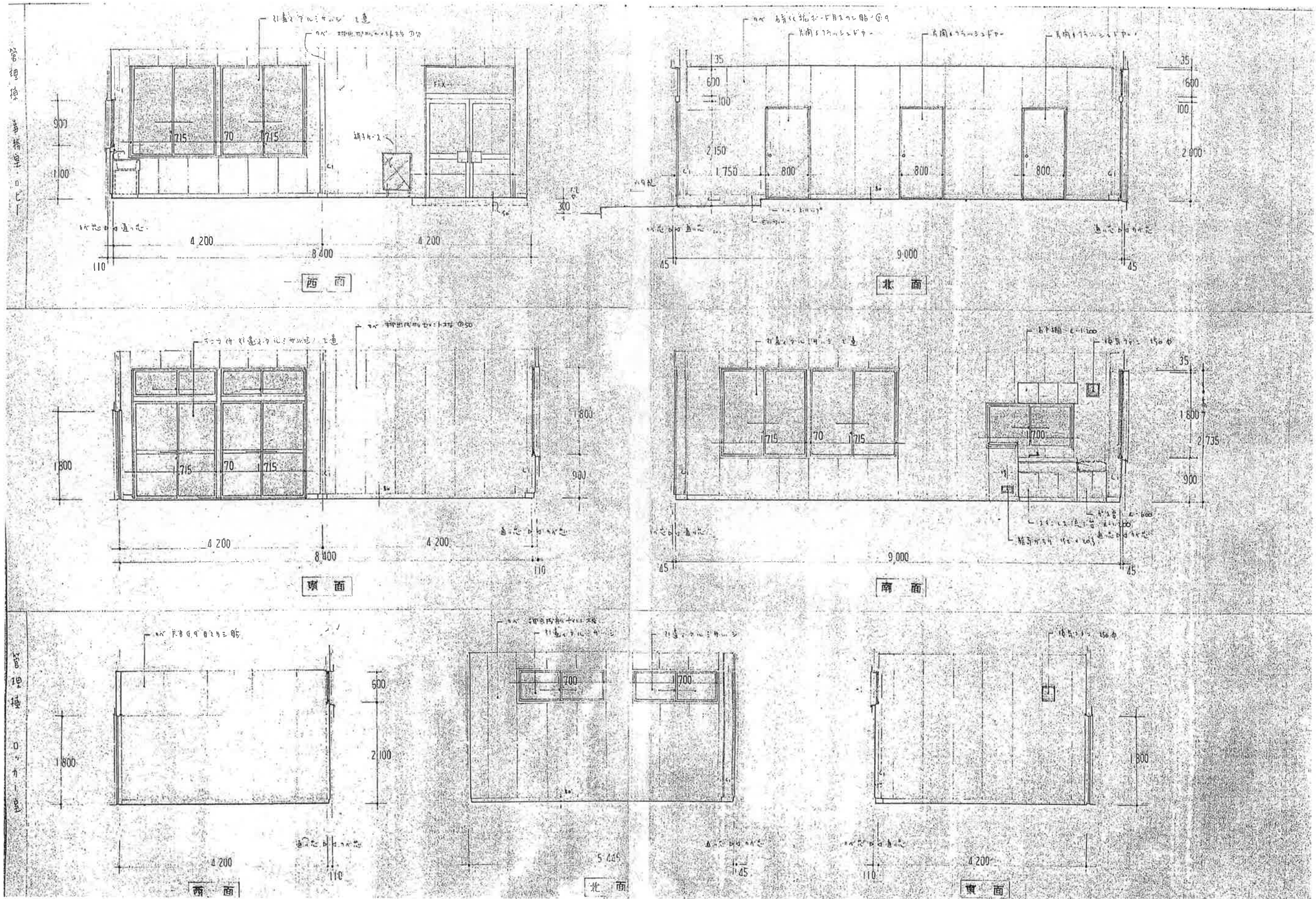
外部仕上表

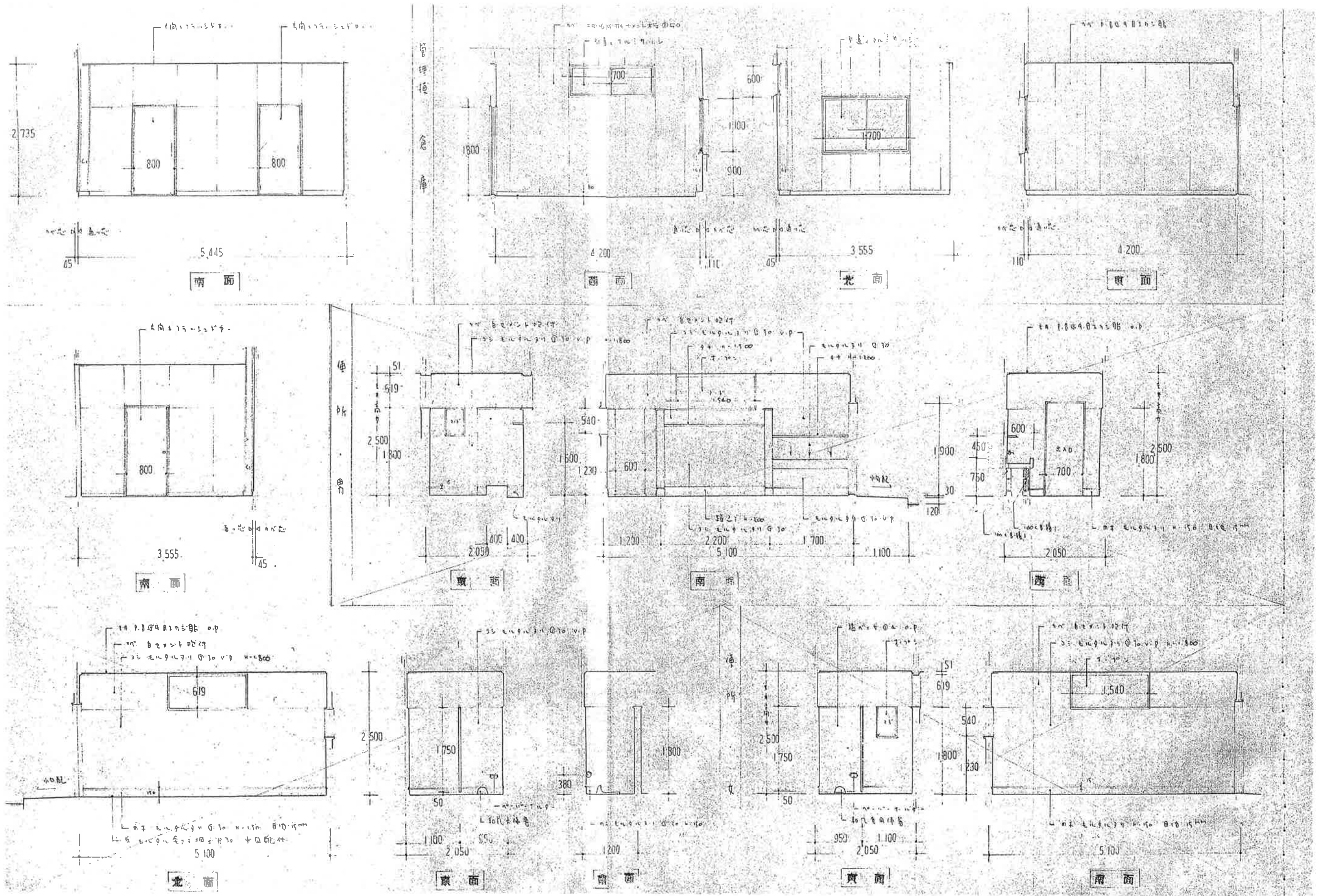
- (A) 屋根 瓦葺き口土下地 葺き 1/20
- (B) 軒裏 木片葺き 40mm
- (C) 外壁 珪藻土サイディングボード
- (D) 床 珪藻土サイディングボード
- (E) 床下 珪藻土サイディングボード
- (F) 基礎 珪藻土サイディングボード

立面図 1/100

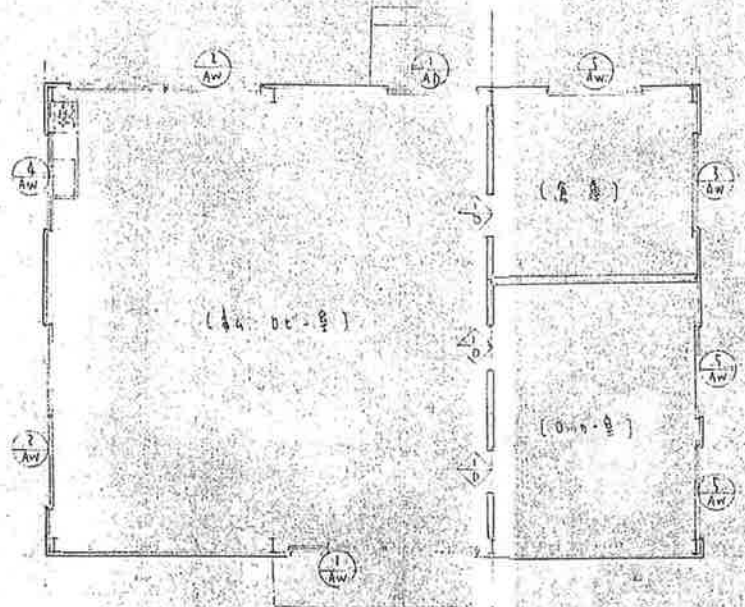


矩計図 1/20





A
1
D - 既設 - B
1
C

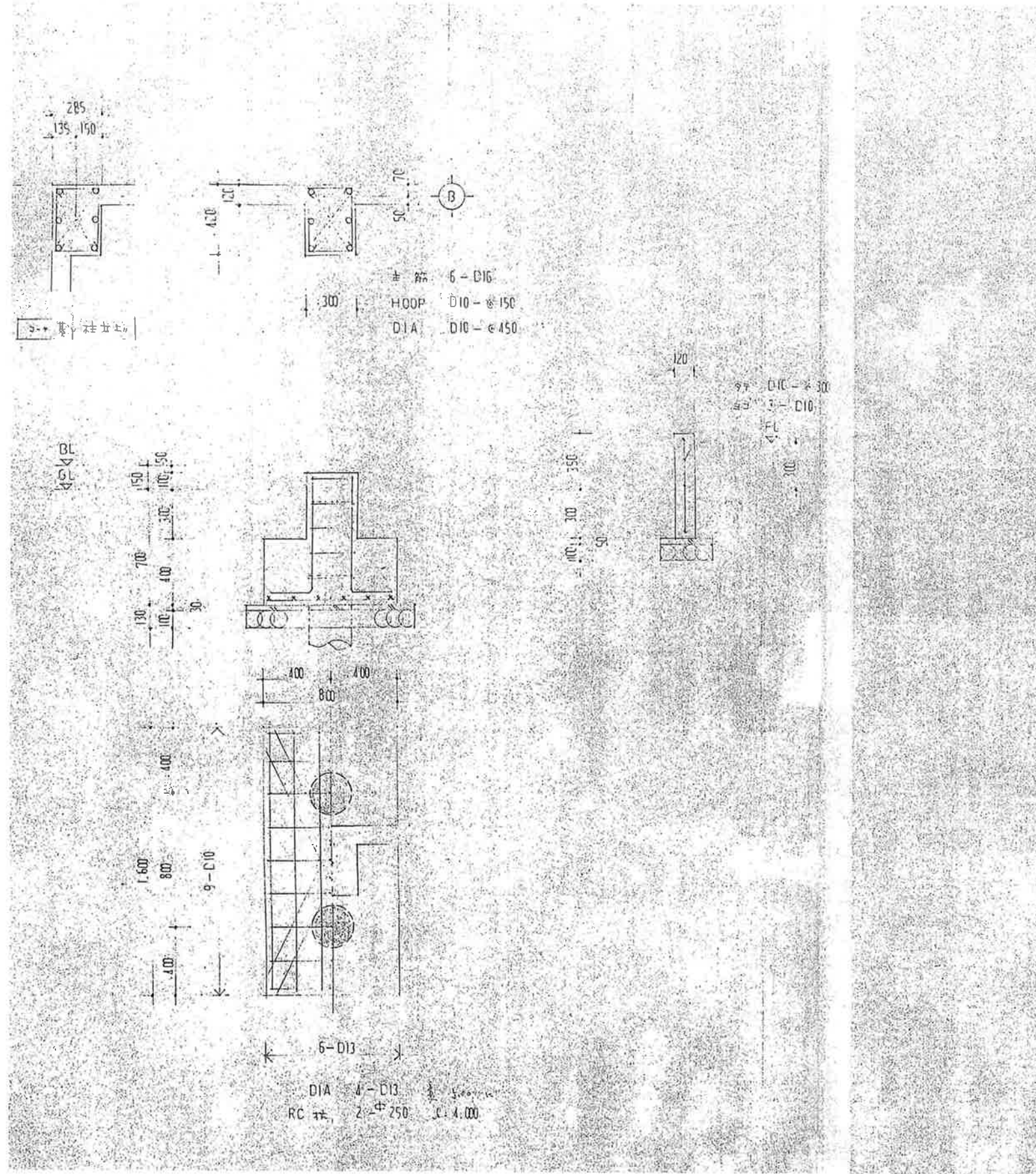


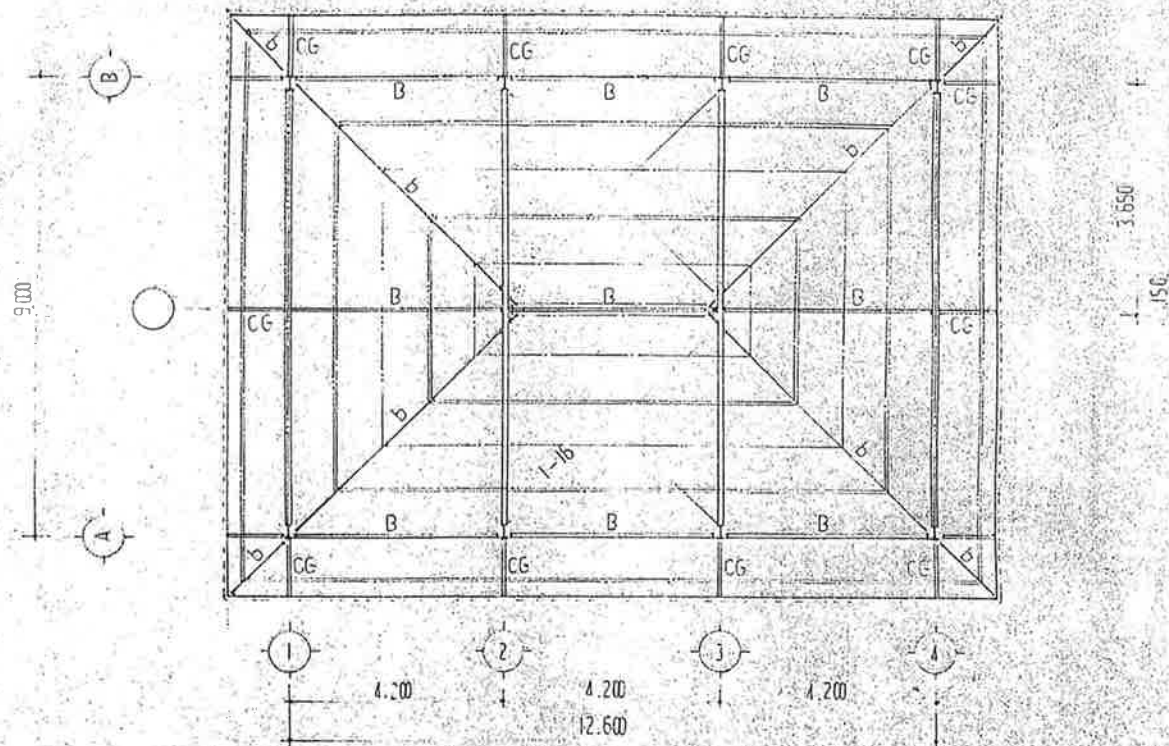
建具配置図 1/100

既存のものを活用する。

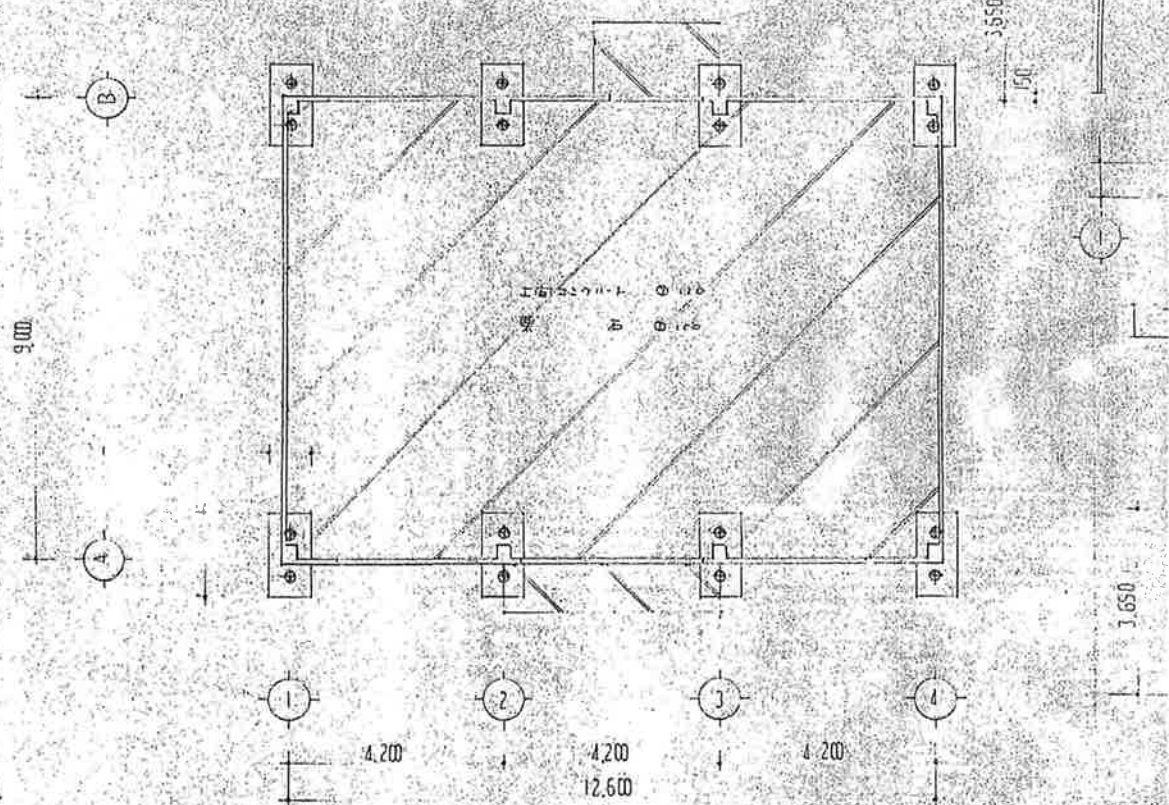
建具表 1/50

パルティ	扉 (A-B)	ガラス	扉 (B-C)	ガラス	扉 (C-D)	ガラス	扉 (D-E)	ガラス
型式 F12 付両開きパルティ	型式 F12 付両開きパルティ	型式 F12 付両開きパルティ	型式 F12 付両開きパルティ	型式 F12 付両開きパルティ	型式 F12 付両開きパルティ	型式 F12 付両開きパルティ	型式 F12 付両開きパルティ	型式 F12 付両開きパルティ
寸法 1700 x 2150	寸法 1700 x 2150	寸法 1715 x 2700	寸法 1715 x 2700	寸法 1715 x 2700	寸法 1715 x 2700	寸法 1700 x 2100	寸法 1700 x 2100	寸法 1700 x 2100
個数 1	個数 1	個数 2	個数 2	個数 2	個数 2	個数 1	個数 1	個数 3
備考 見込 1700	備考 見込 1700	備考 見込 60mm	備考 見込 60mm	備考 見込 60mm	備考 見込 60mm	備考 見込 16mm	備考 見込 16mm	備考 見込 16mm
型式 F12 付両開きパルティ	型式 F12 付両開きパルティ	型式 F12 付両開きパルティ	型式 F12 付両開きパルティ	型式 F12 付両開きパルティ	型式 F12 付両開きパルティ	型式 F12 付両開きパルティ	型式 F12 付両開きパルティ	型式 F12 付両開きパルティ
寸法 1800 x 800	寸法 1800 x 800	寸法 1800 x 800	寸法 1800 x 800	寸法 1800 x 800	寸法 1800 x 800	寸法 1800 x 800	寸法 1800 x 800	寸法 1800 x 800
個数 3	個数 3	個数 3	個数 3	個数 3	個数 3	個数 3	個数 3	個数 3
備考 見込 1700	備考 見込 1700	備考 見込 60mm	備考 見込 60mm	備考 見込 60mm	備考 見込 60mm	備考 見込 16mm	備考 見込 16mm	備考 見込 16mm

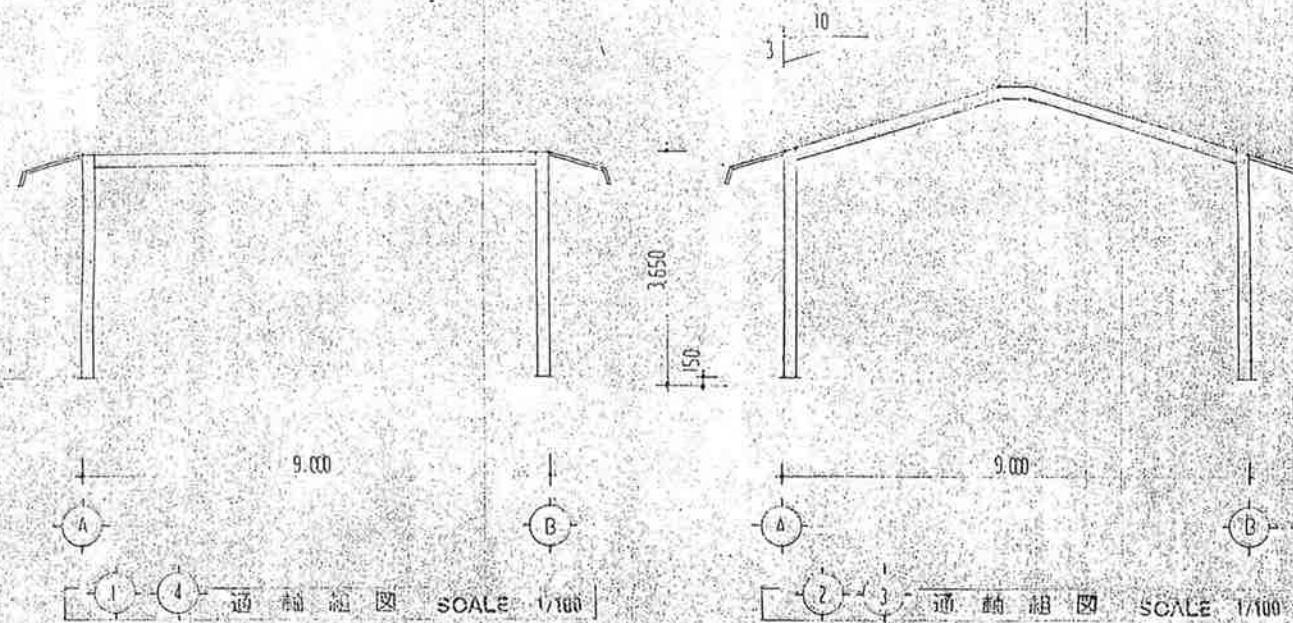




小屋伏図 SCALE 1/100

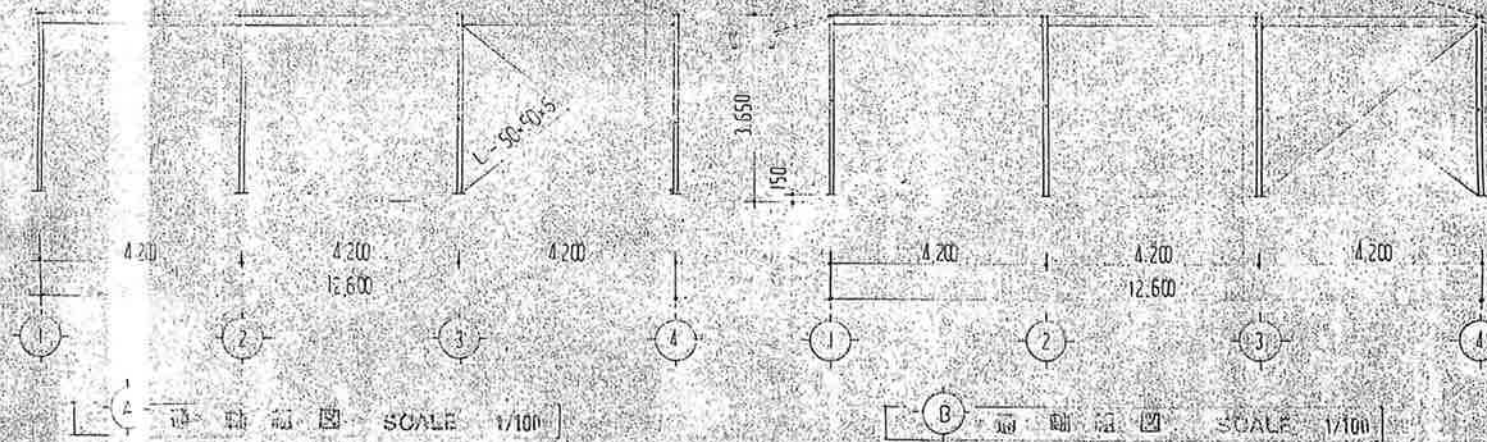


本屋伏図 SCALE 1/100



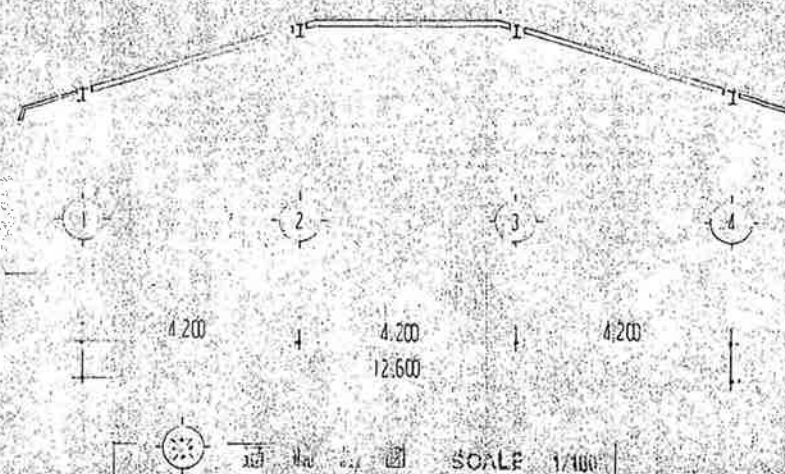
通軸組図 SCALE 1/100

通軸組図 SCALE 1/100

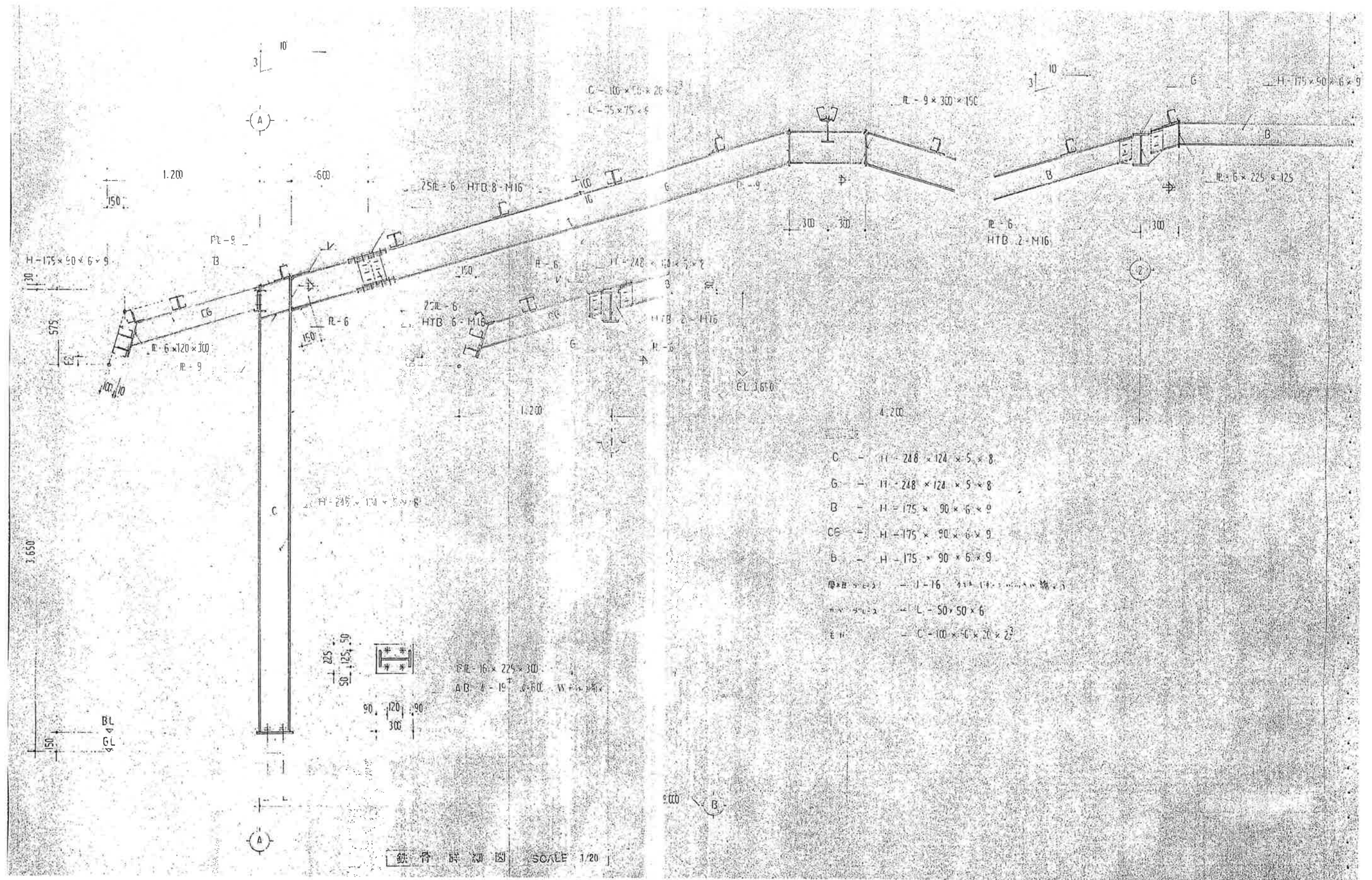


通軸組図 SCALE 1/100

通軸組図 SCALE 1/100



通軸組図 SCALE 1/100



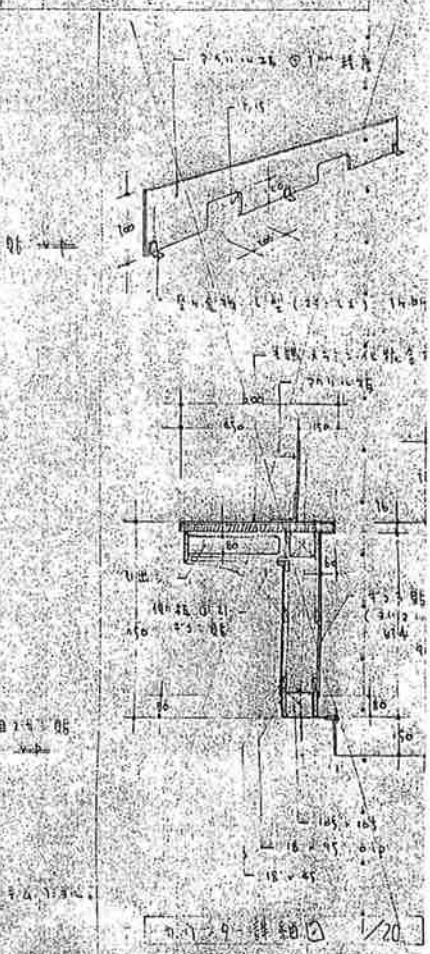
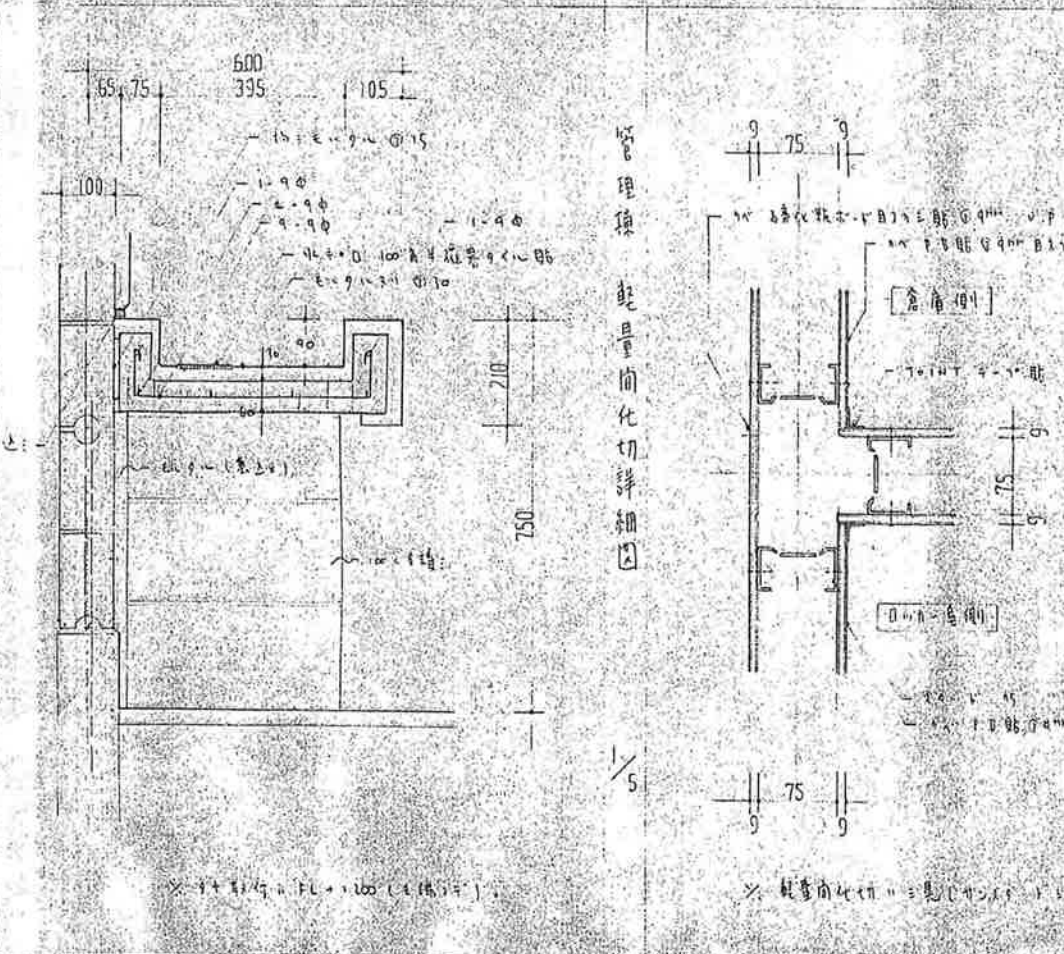
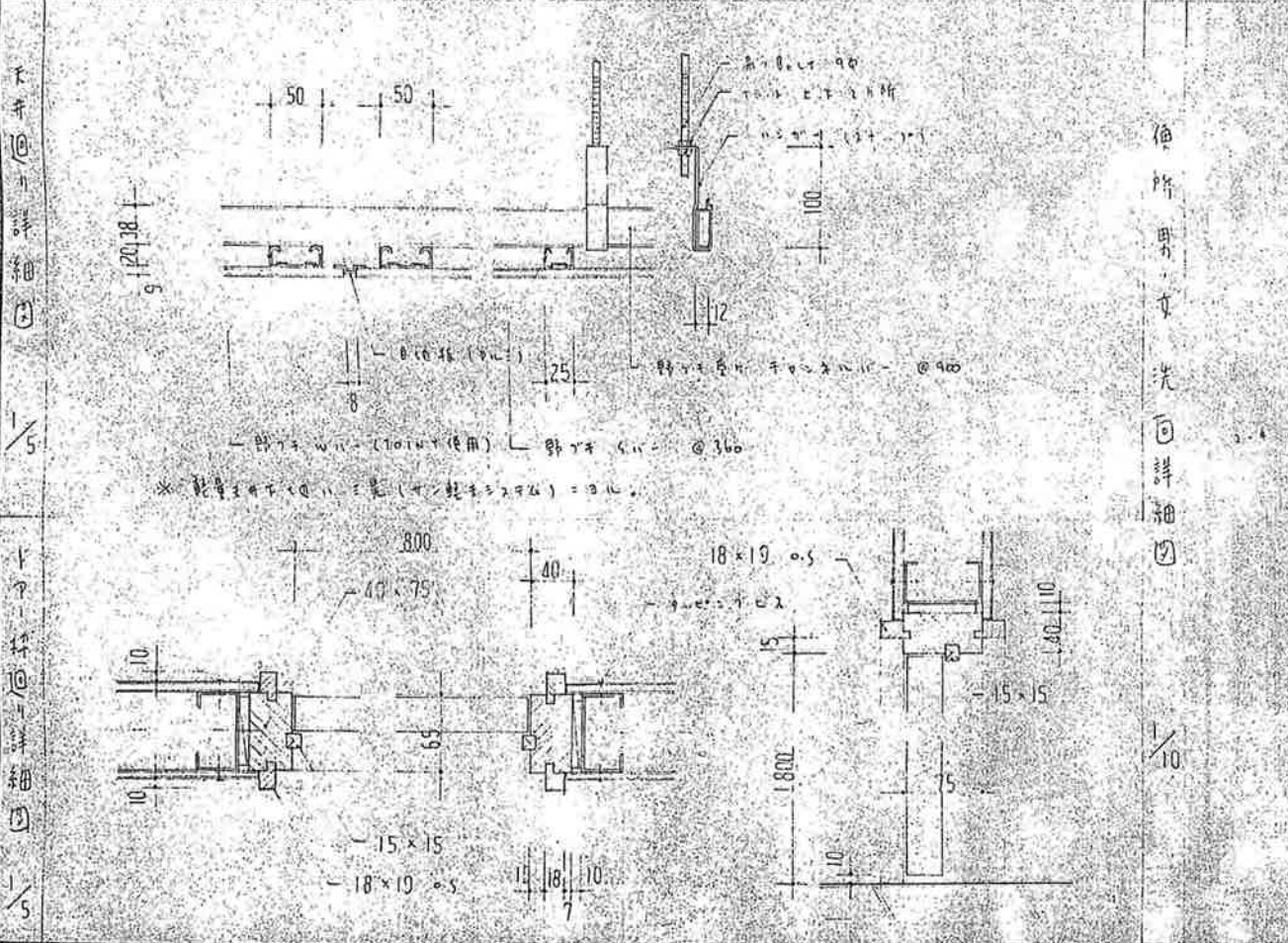
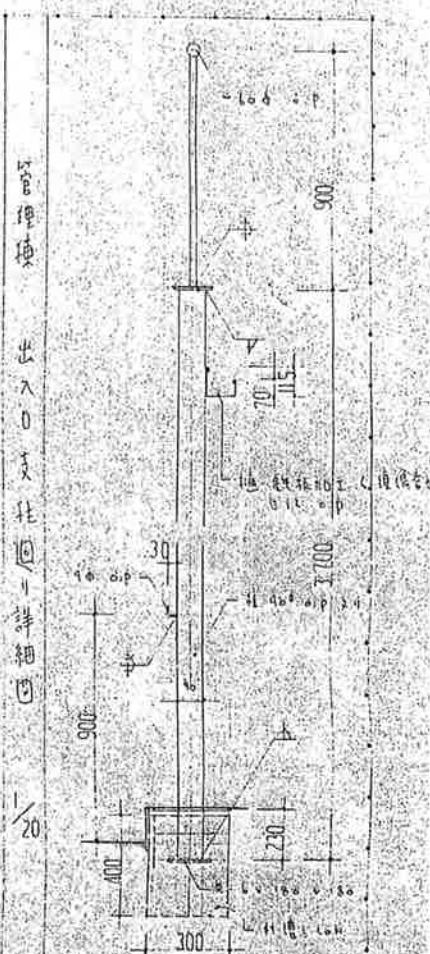
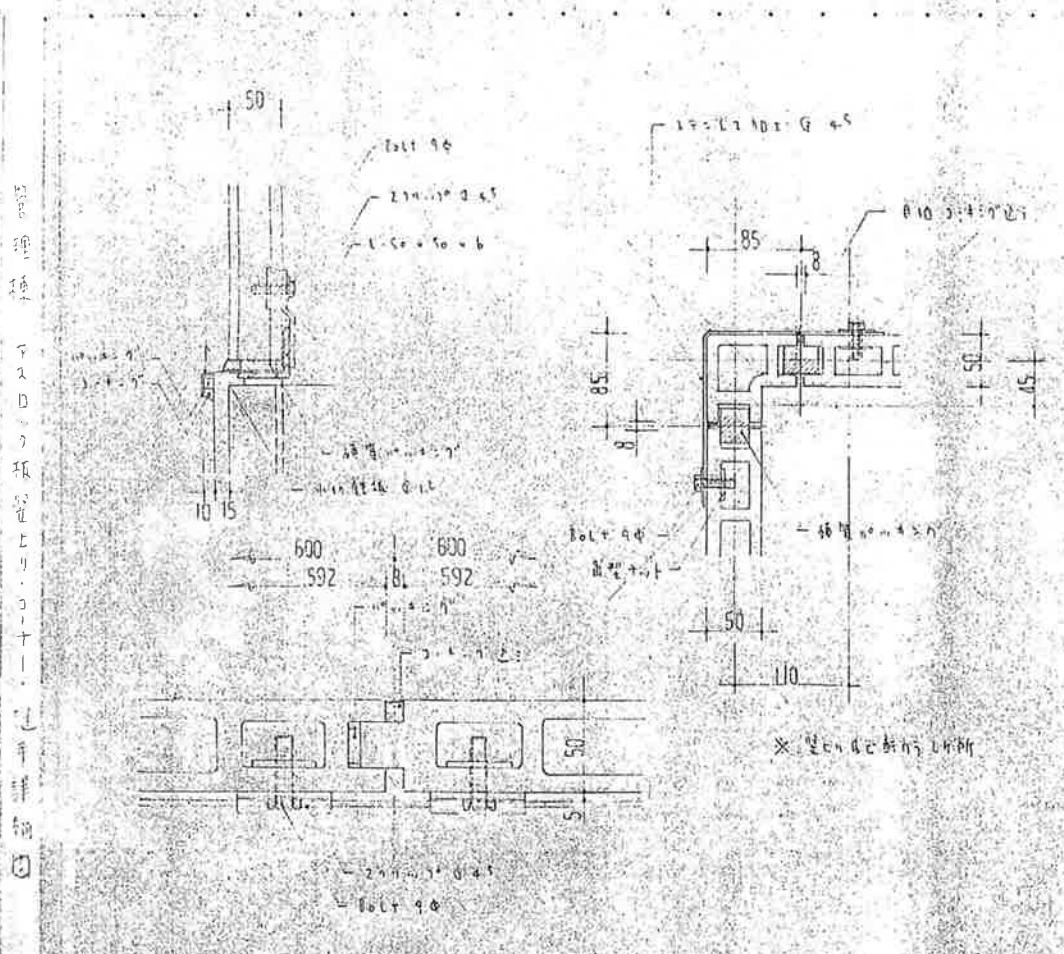
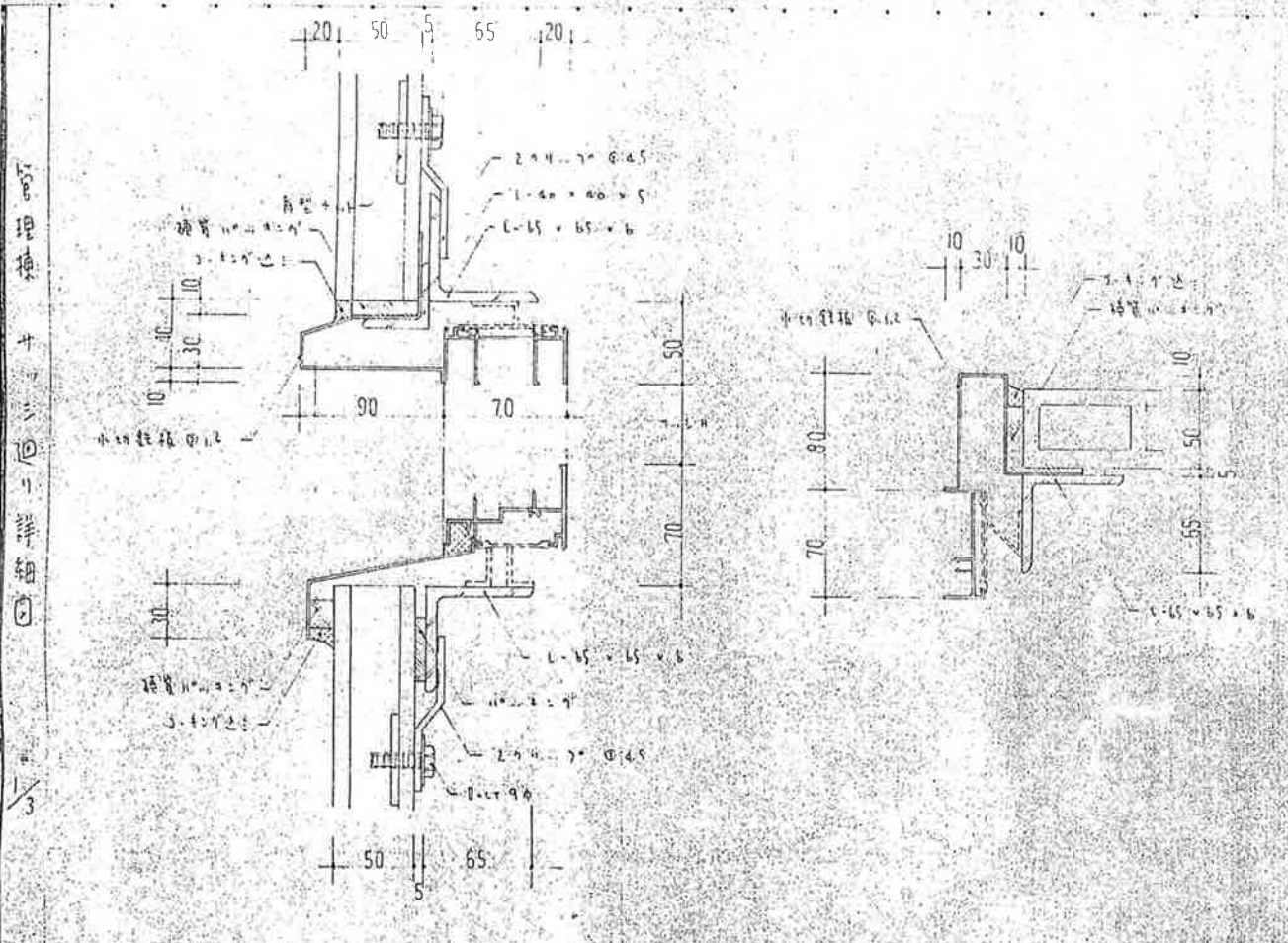
- C - H - 248 x 124 x 5 x 8
- G - H - 248 x 124 x 5 x 8
- B - H - 175 x 90 x 6 x 9
- C6 - H - 175 x 90 x 6 x 9
- B - H - 175 x 90 x 6 x 9
- HTB 6-M16
- L - 50 x 50 x 6
- C - 100 x 70 x 20 x 2

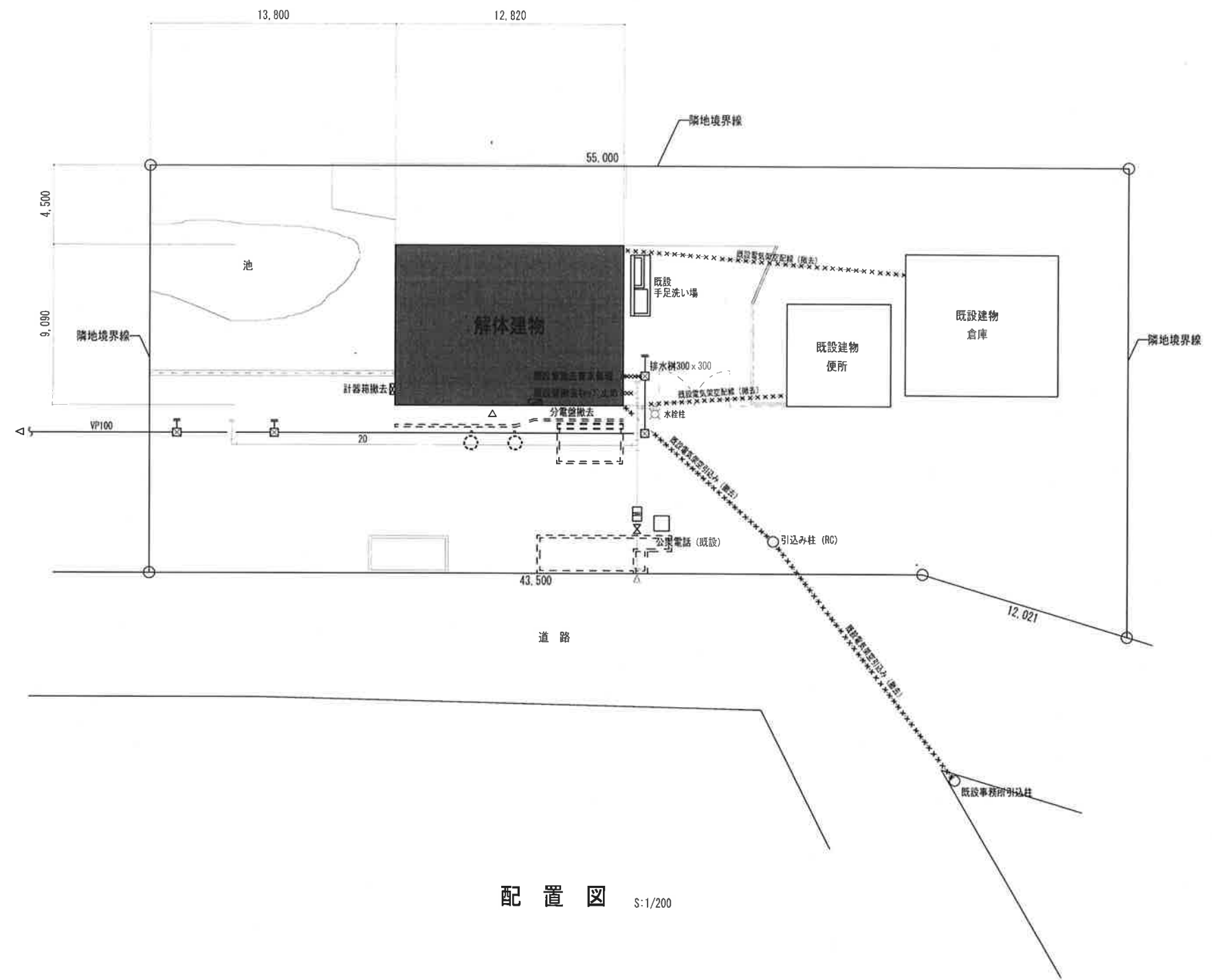
鉄骨詳細図 SCALE 1/20

訂正: 備考

宮田建築設計事務所
 三重県四日市市日永西一丁目 28-3
 Tel 059 (347) 7224
 Fax 059 (347) 7227
 三重県知事登録 1-537号 一級建築士 270497号 宮田 謙一

既設鉄骨詳細図		(解体参考図)		scale	no
approved	check	drawn	date	S:1/20	A-15
Y.Niyata		Y.Niyata	2.017年 11月 15日		

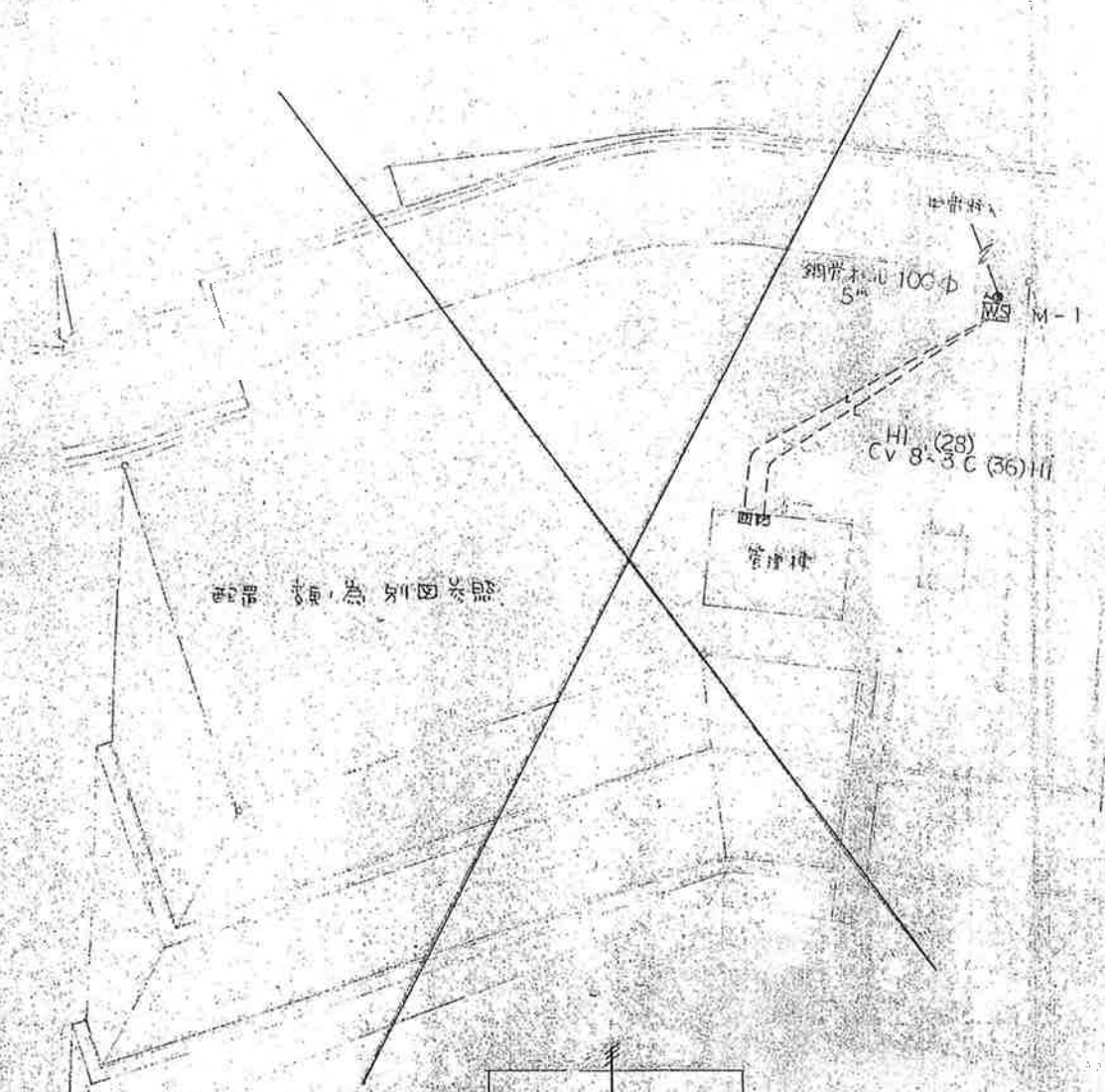
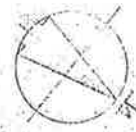




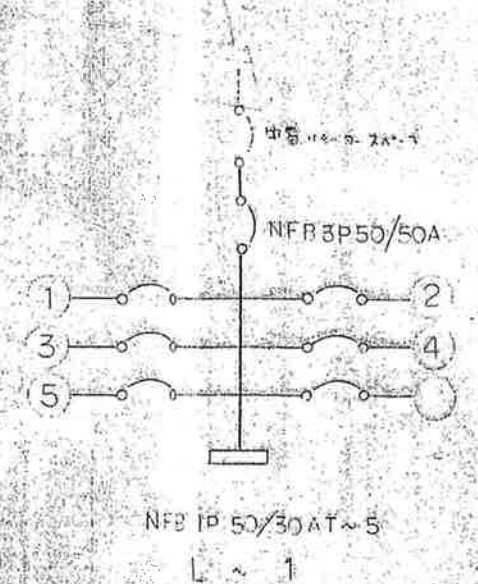
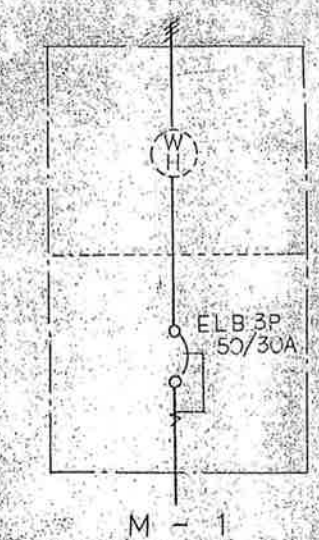
配置図 S:1/200

※既設図は竣工図面を参考に作成したものであり、隠蔽部などについては
工事着手時に、調査を行い既設取合い（便所・倉庫）を確認し撤去する事

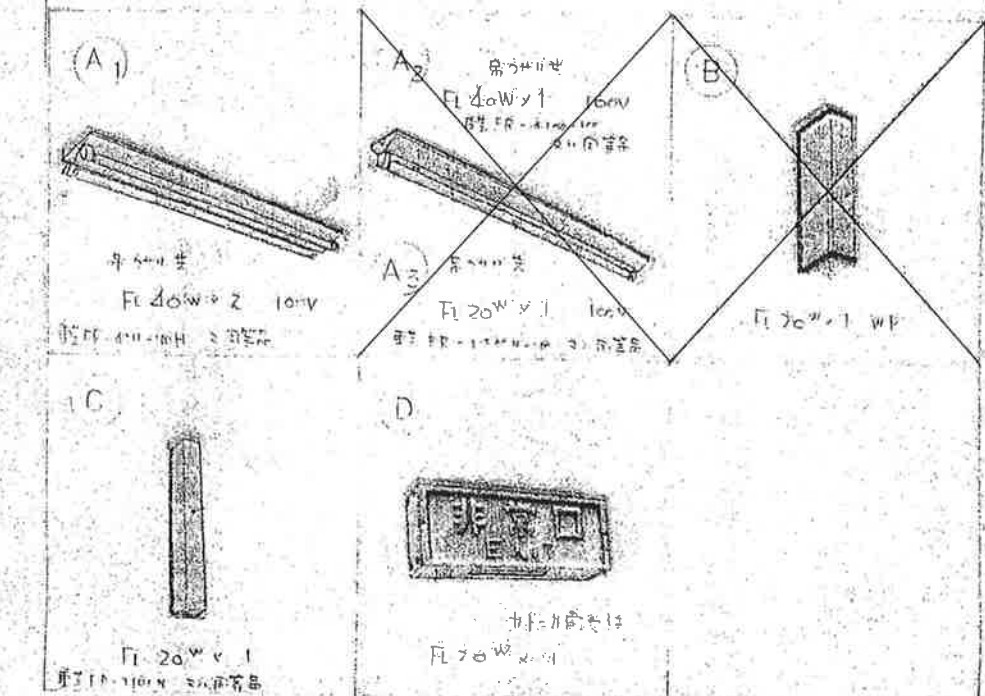
四日市スーパント管理事務所改築工事設計図	訂正 備考	宮田建築設計事務所 三重県四日市市日永西一丁目 28-3 Tel 059 (347) 7224 Fax 059 (347) 7227 三重県知事登録 1-537号 一級建築士 270497号 宮田 陽一	既設設備配置図	(解体参考図)	scale S:1/200	no A-17
			approved Y.Miyata	check	draw Y.Miyata	



埋設図取付位置



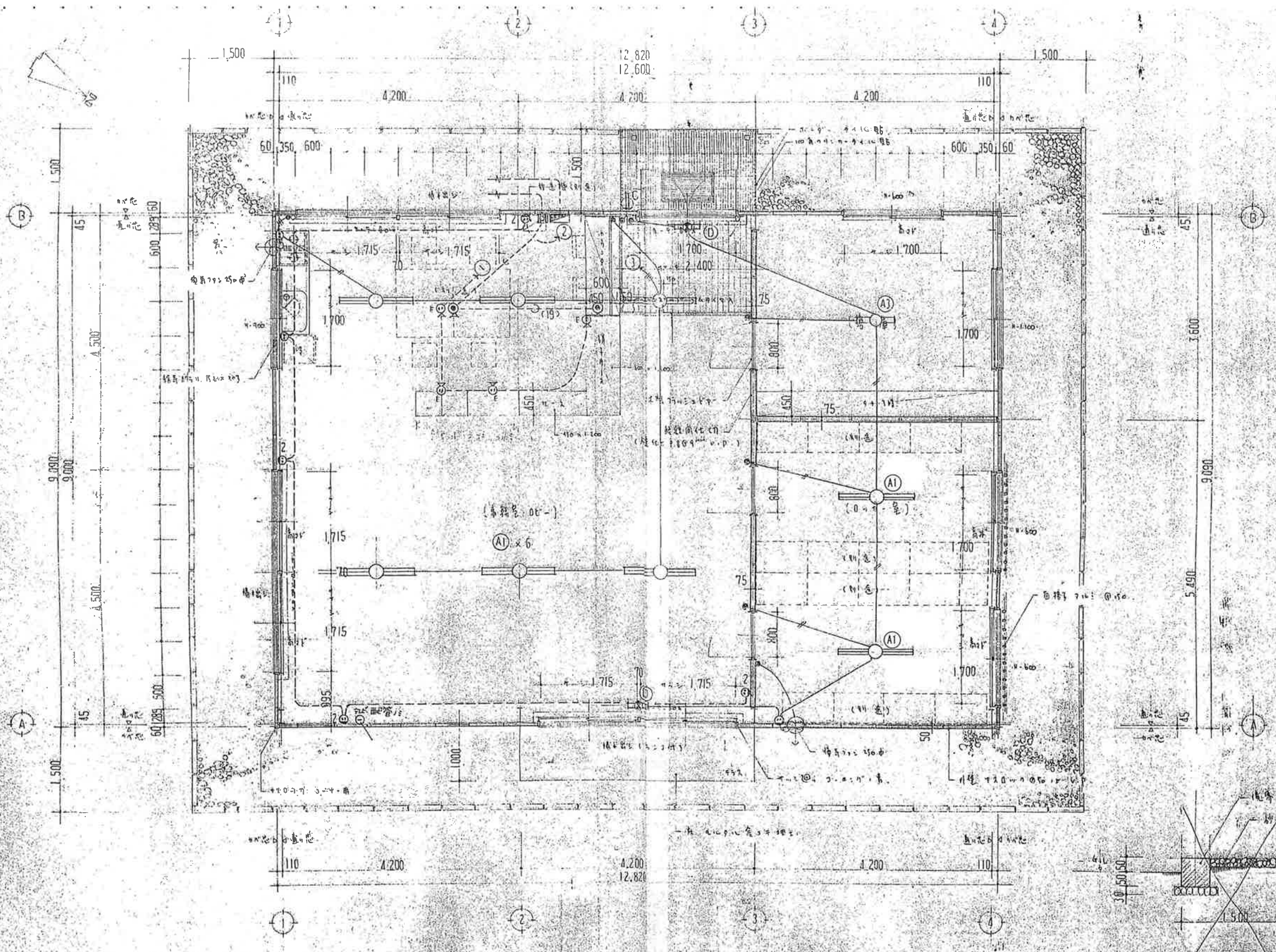
照明器具等図



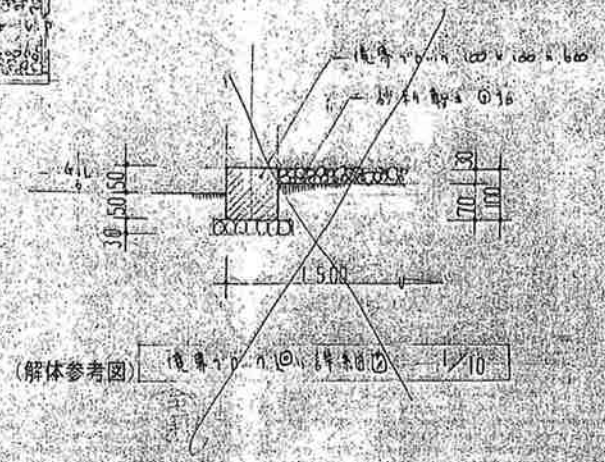
記号例

記号	内容	備考
WS	屋外引出方向	鋼筋型
□	天井分盤	層別型
⊙	接点箱 200φ	特注品
⊙	2P15A×2	新基準品
⊙	天井引出箱	自在型・2P
□	配線管管束	2P
⊙	1P-3A引出	
○	天井引出(1P-3A)	特注品

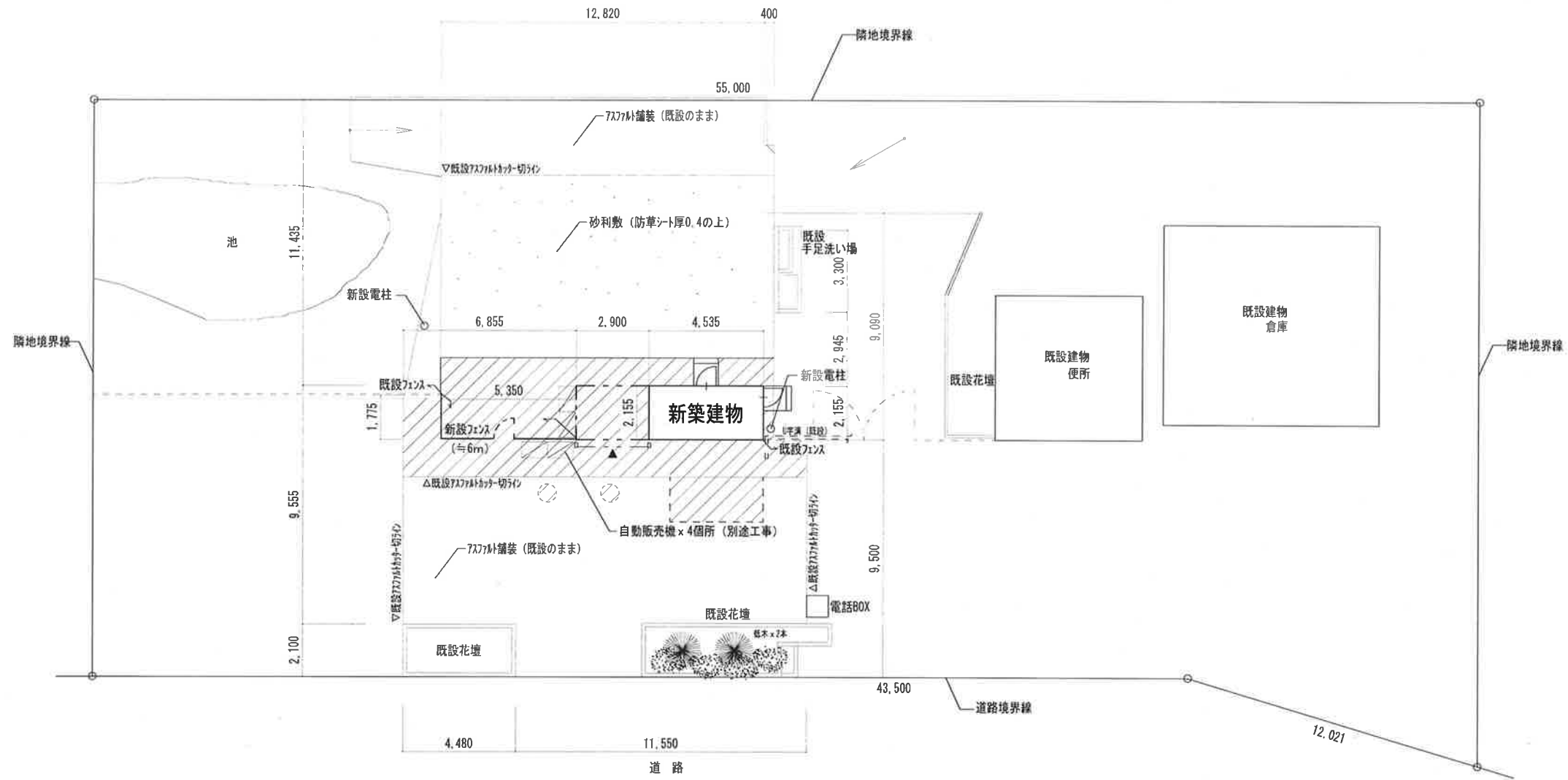
(解体参考図)



電気設備図
平面図 1/50

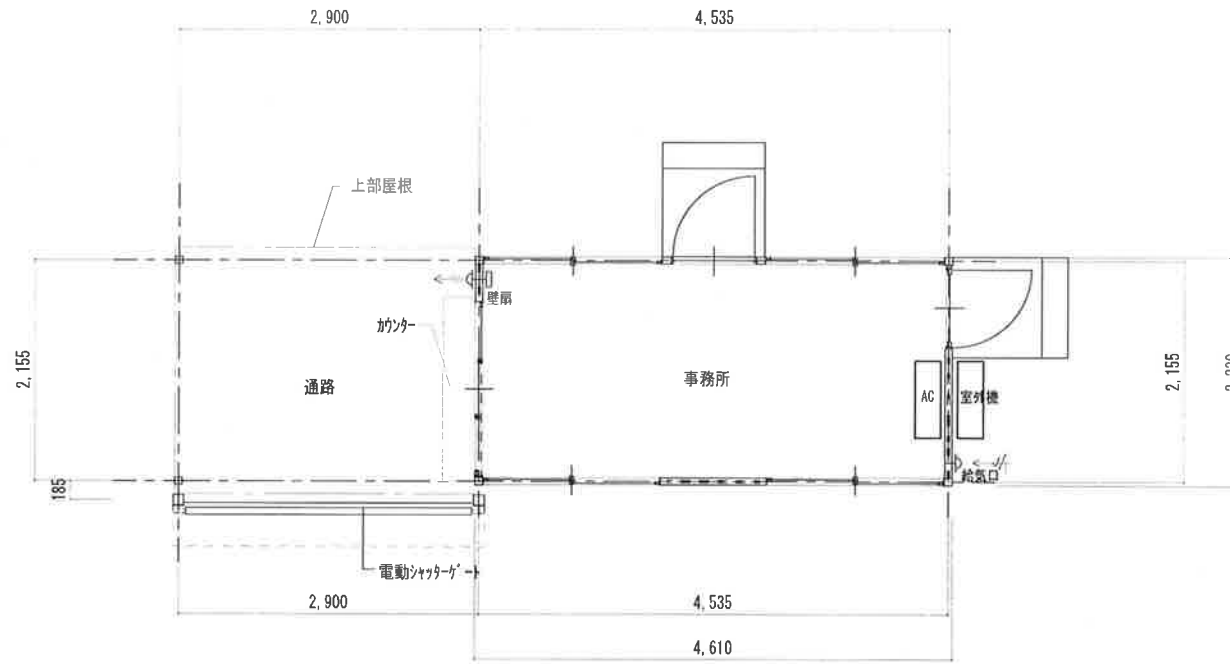


(解体参考図) 1/10



- 新設7x7m舗装 (舗装施工面積約175m²)
- 新設メッシュフェンスH=1500 (朝日UNフェンス同等品) 片開き門扉 x 1箇所設置 (W=1000 H=1500)

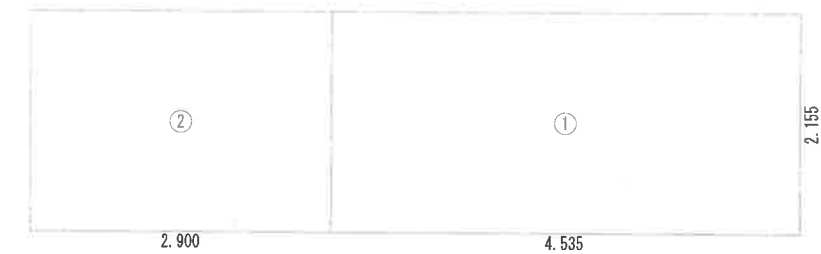
新設配置兼外構図 S:1/150



平面図 S:1/100

仕上げ表

仕 様		
構造	鉄骨造	
屋根	仕上: 金属折板張り t=0.5	NM-8697
外部建具	アルミサッシ 網戸付	
庇	アルミ	
床	下地: 構造用合板 t=12	
	仕上: Pタイル	
外壁 (複合パネル)	外部仕上: カラー鋼板 t=0.27	NM-8697
	断熱材: スチレンフォーム t=40	
	内部仕上: カラー鋼板 t=0.27	NM-8697
天井	仕上: 化粧合板 t=4	
	断熱材: スチレンフォーム t=30	
シックハウス 対策	<ul style="list-style-type: none"> ・壁・床・天井・建具仕上に用いる建築材料はすべてF☆☆☆☆、または規制対象外の材料を使用する ・天井裏などへの措置については、天井裏・床裏・壁収納に用いる建築材料はF☆☆☆☆以上を使用する 	



面積求積図 S:1/100

面積求積表

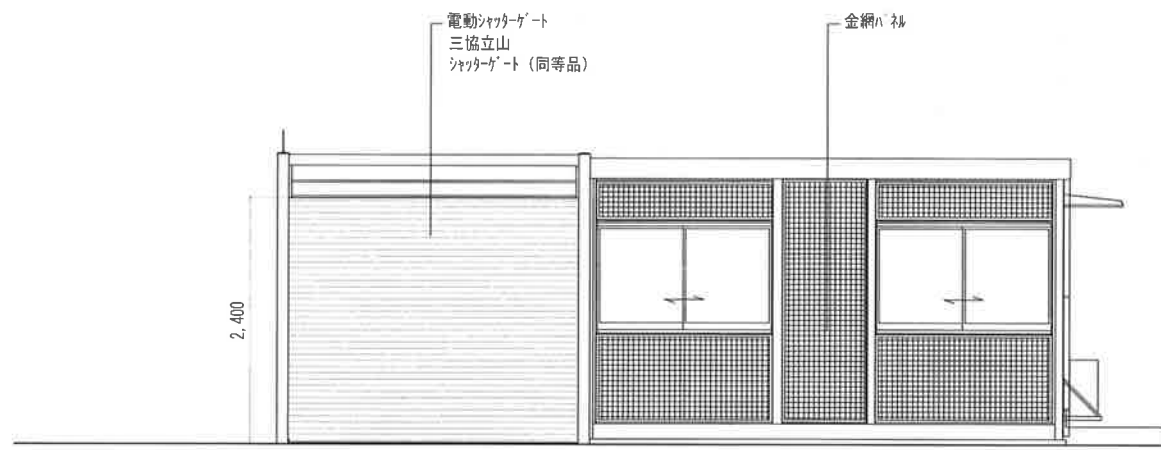
① 4.535 × 2.155 = 9.773

Ⓐ 床面積 9.773

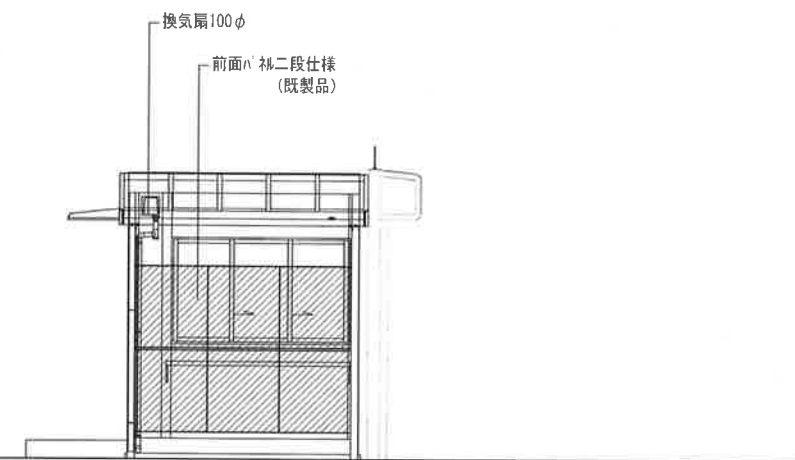
Ⓐ 床面積 9.773

② 2.900 × 2.155 = 6.249

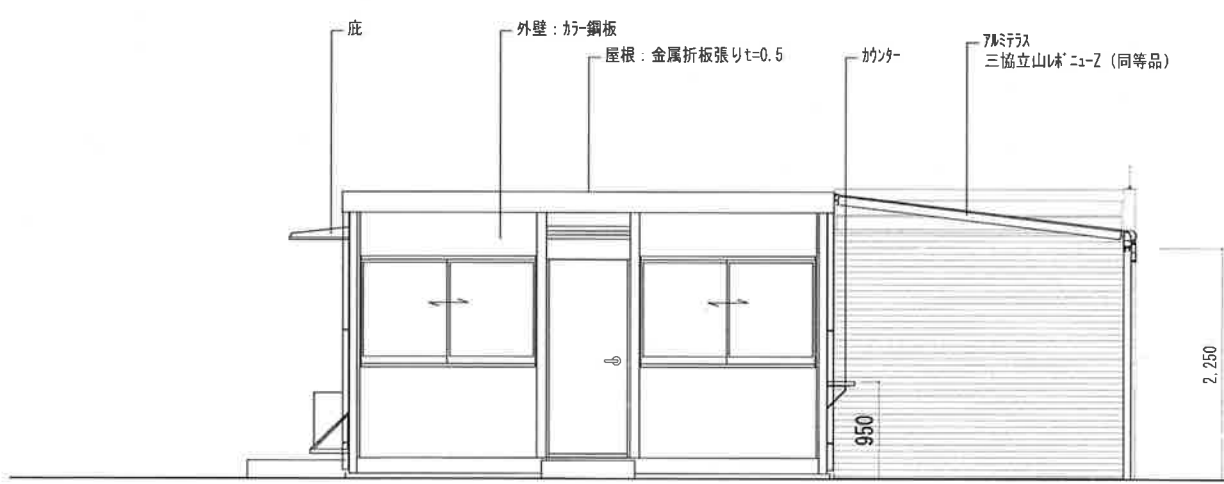
Ⓑ 建築面積 16.022



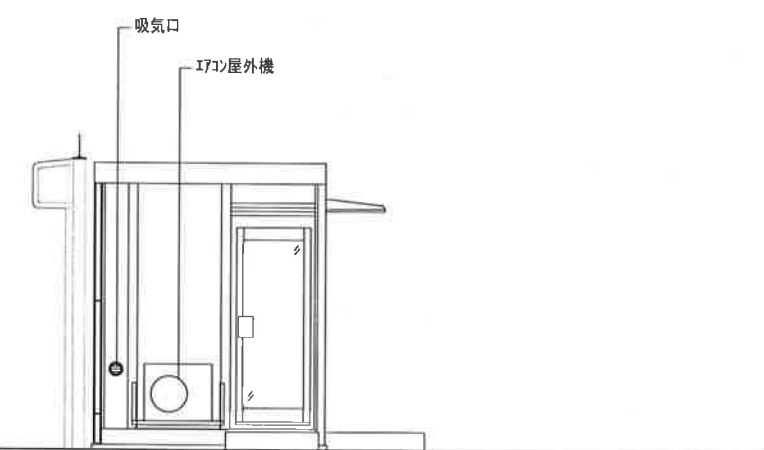
南立面図 S:1/100



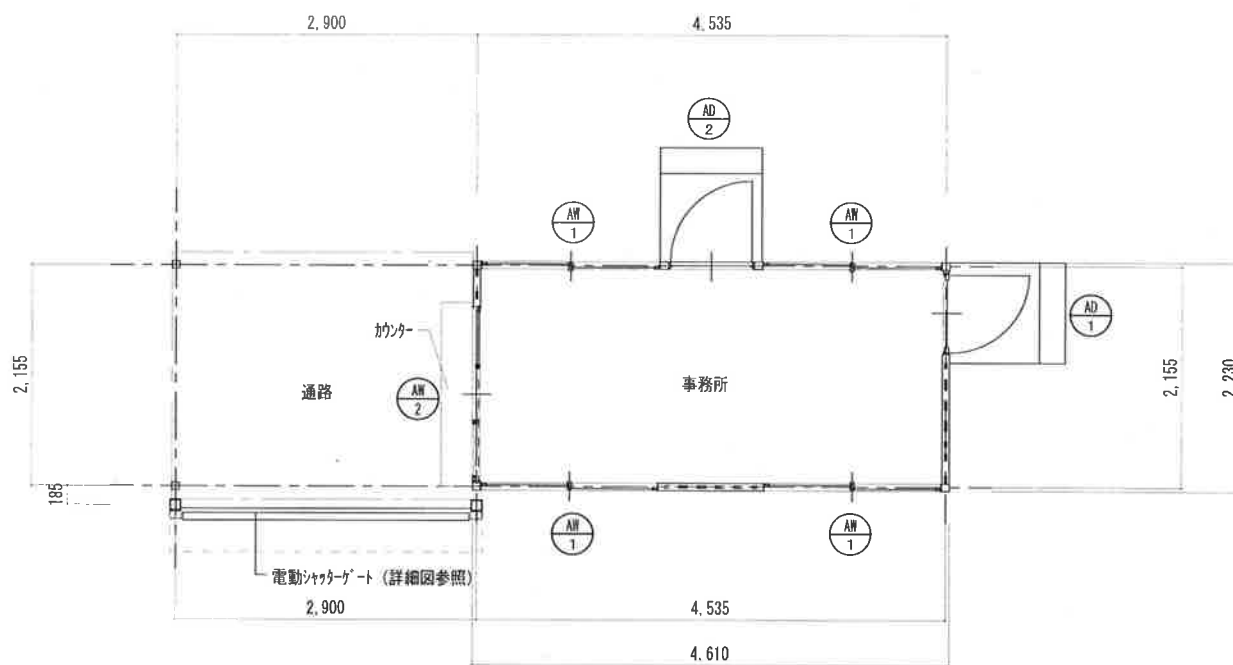
西立面図 S:1/100



北立面図 S:1/100

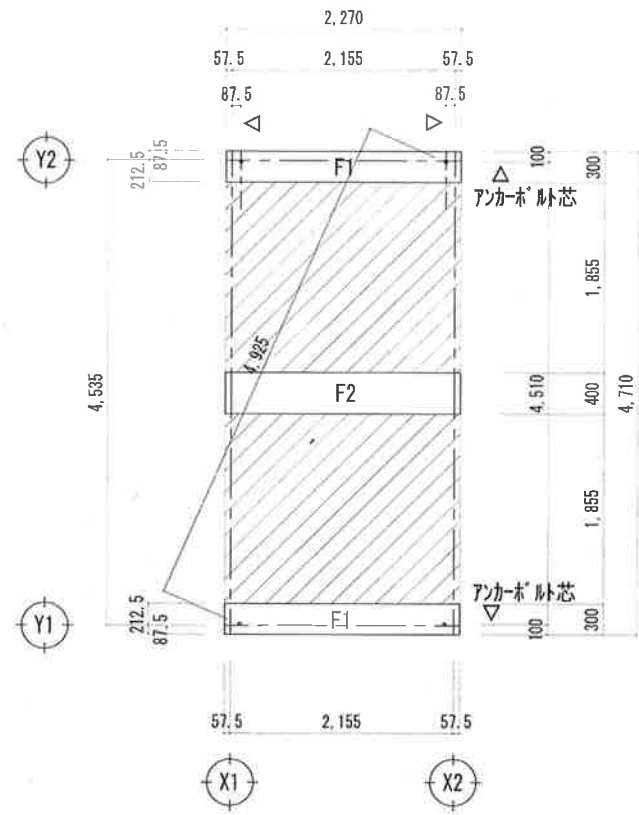


東立面図 S:1/100



建具配置図 S:1/100

建 具 表 S:1/50			
AD 1	片開きガラスドア 1個所	AD 2	片開きドア 1個所
<p>透明5 施錠：940-7070付</p>		<p>施錠：940-7070付</p>	
AW 1	引違窓 (H1000) 4個所	AW 2	3本引違窓 (H1000) 1個所
<p>透明3 施錠：外付 網戸付</p>		<p>透明3 施錠：外付 網戸付</p>	



基礎伏図 S:1/50

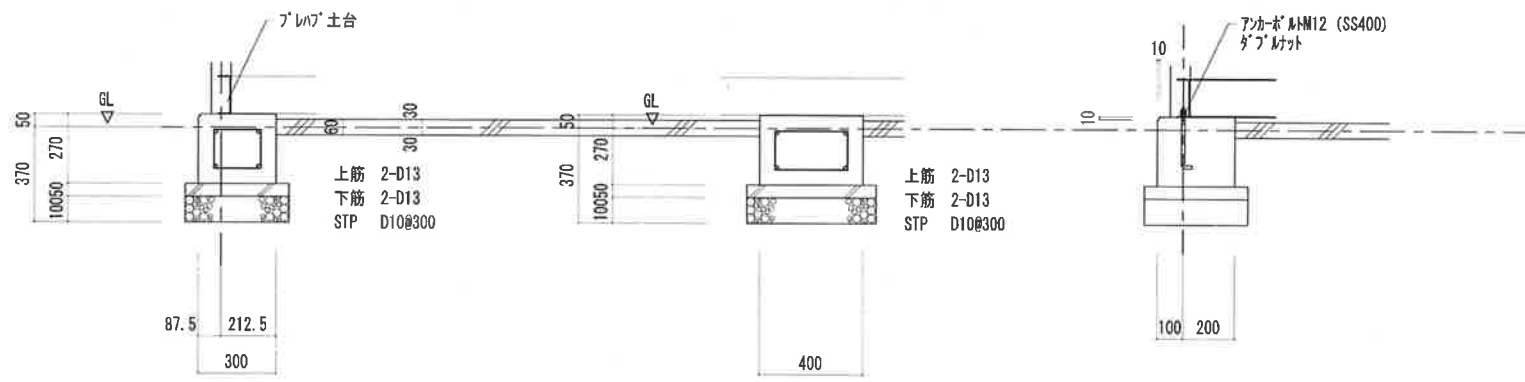
長期許容支持力 $q_a=30\text{KN/m}^2$

使用材料

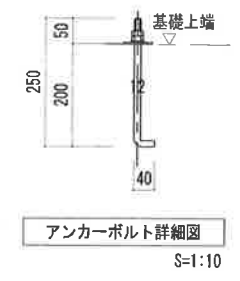
1) コンクリート
 設計基準強度 $F_c=18\text{N/mm}^2$
 品質基準強度 $F_q=18\text{N/mm}^2$
 ※調合管理強度 (F_m) は品質基準強度 (F_q) に構造体強度補正值 (mSn) を加えて下さい。

2) 鉄筋 SD295A

防湿コンクリート=60



基礎詳細図 S:1/20



仕様書

工事名称 四日市スポーツランド管理事務所改築工事

I. 工事概要

Table with 5 columns: 建物名称, 構造及び階数, 敷地面積, 床面積, 用途. Includes project name and location details.

3. 工事種目 (○印の付いたものが対象)

Table with 2 columns: 工事種目, 種別. Lists various electrical and construction items with checkboxes for inclusion.

4. 指定部分

II. 特記仕様書

- 1. 特記仕様書の取り扱いについて
1) 項目番号に○印の付いたものを適用する。
2) 特記事項の印の適用は下記による。

2. 一般共通事項

Main specification table with columns: 項目, 項目, 設備概要. Contains detailed technical requirements for the project.

14 設備の処理

15 既存部分との取合

16 提出書類

17 分岐配線の取合

18 新設施工

災害又は公害が発生した場合は、速やかに適切な処置をとり、直ちにその経過を監督者及び館主に報告をする。

設備機器の固定は、次に示す事項を除きすべて「建築設備耐震設計 施工指針(日本建築学会) 2005年版」による。

Table: 高層建築物による建築設備機器(水機を除く)の設計用水平震度. Lists seismic intensity requirements for high-rise buildings.

Table: 高層建築物による水機等の設計用水平震度. Lists seismic intensity requirements for water pumps and other equipment.

19 避雷 結露防止

20 合成樹脂製可とう管

21 電線本数、管径等

22 イナート

23 呼び線

24 防カブリ

25 フラット

26 はつり

27 取り外し機器

28 接地抵抗

29 塗装工事

30 地中配管の埋設深さ等

1 工事範囲

2 電気方式

3 蛍光灯安定器

4 H10型安定器

5 非常用照明装置

6 非常用照明器具

7 天井照明器具

8 予備配管

外部に面する壁、天井で建築工事で(0.1m等)打ち込み箇所に取り付ける位置が1/2などは保温、結露防止処置を行う。

合成樹脂製可とう電線管(PF管)及び付属品は、3/4"φ-25のものを使用する。なお、PF管は波付管の一重管とする。

電線本数、管径等は電線管、制動盤、端子盤などの2枚側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督員の承認を受けて、変更して差しつかえない。

鋼製とする。なお、床版で保温板打ち込み部分は、断熱材用(イナート)を使用する。

長さ1m以上の入線しない管路には、1.2m以上のPVC埋設管を挿入する。

水平調整付きプレート(空転防止リブ付)

既存のコンセント床、壁などの配管貫通部の穴明けは、図面に特記なき場合は原則として9/16"φとする。

工事施工前に、取り外し機器が接続されている分岐回路の絶縁抵抗を測定する。取り外し再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗測定の上、取付ける。

各接地の抵抗値は電気設備基準第18条に従って施工する。

下記部位に使用する。外面のつき電線管の露出配管には塗装を施す。

地中配管で、特記なき埋設深さは0.6m以上とする。

分岐配線方式: 単相3線式 100/200V, 単相2線式 (○)200V・200V, 単相2線式 100V

蛍光灯安定器: 省電力型, 一般型, 電力率: >40%以上 (-200V, -100V), >40%以上 (-200V, -100V)

H10型安定器: 定電圧形, 一般形, 定始動電流形, 電圧 (-200V, -100V), 低力率, 高力率

非常用照明装置: 電池内蔵形, 電池別置形

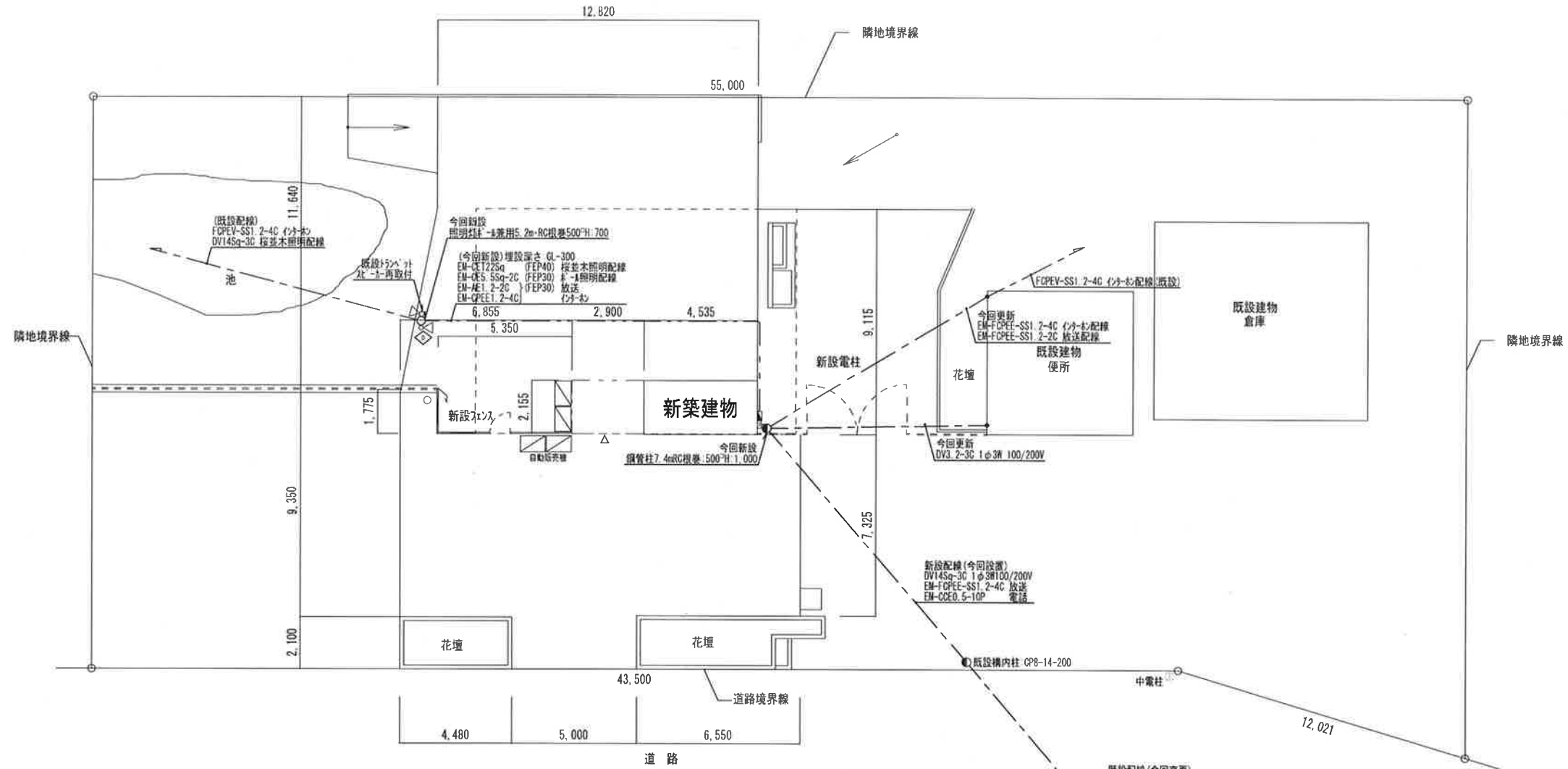
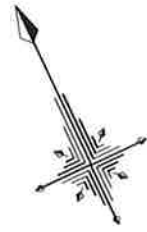
非常用照明器具: 飛び出し形, 外部固定形, 融合金製, 7%系

予備配管: 埋込形分電盤からの立ち上がり予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合(2S)を一本、5個以上の場合(2S)を二本、天井まで打ち上げる。

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Lists specific technical details for various electrical components and systems.

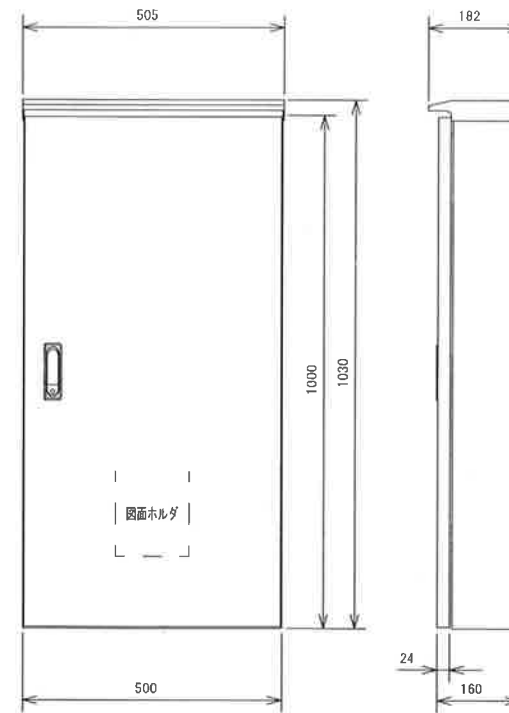
Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Lists specific technical details for various electrical components and systems.

Table: メーカーリスト (下記メーカー又は同等品以上とする。). Lists manufacturer recommendations for various electrical equipment.

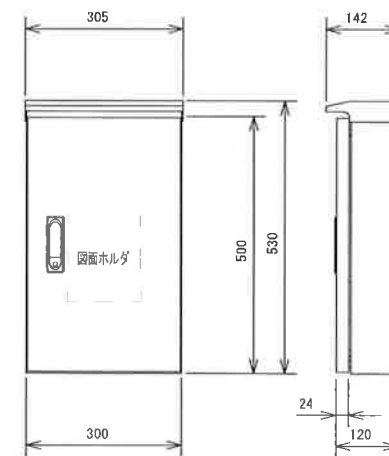


配置図 S:1/200

盤名称	盤結線図	回路電圧 番号 (V)	開閉器 種類 P E A F A T	負荷容量 (VA)		備考 (回路名称)
				電灯	コンセントその他	
(既設) 電灯盤 L-1 屋内壁掛型 AC 1φ3W 200/100V		01	MCCB 3 3 50 30			構内桜並木送り
		02	MCCB 3 3 50 30			屋外便所・倉庫送り
			ELCB 3 3 60 60			主幹
		A	MCCB 2 2 30 20			事務所エアコン
		B	MCCB 2 2 30 20			予備
		1	MCCB 2 1 30 20	86.7		事務所照明
		2	MCCB 2 1 30 20		600.0	事務所コンセント
		3	MCCB 2 1 30 20		900.0	事務所コンセント
		4	MCCB 2 1 30 20		600.0	事務所コンセント
		5	MCCB 2 1 30 20		300.0	入口券売機コンセント
		6	MCCB 2 1 30 20			スライダー上照明
		7	MCCB 2 1 30 20		200.0	電動シャッター
		8	MCCB 2 1 30 20		300.0	自販機コンセント
		9	MCCB 2 1 30 20		300.0	自販機コンセント
		10	MCCB 2 1 30 20		300.0	自販機コンセント
		11	MCCB 2 1 30 20		300.0	自販機コンセント
		12	MCCB 2 1 30 20			予備
		13	MCCB 2 1 30 20			予備
14	MCCB 2 1 30 20			予備		
15	MCCB 2 1 30 20			予備		
16	MCCB 2 1 30 20			予備		
17	MCCB 2 1 30 20		273.0	LED構内照明		
18	MCCB 2 1 30 20			予備		

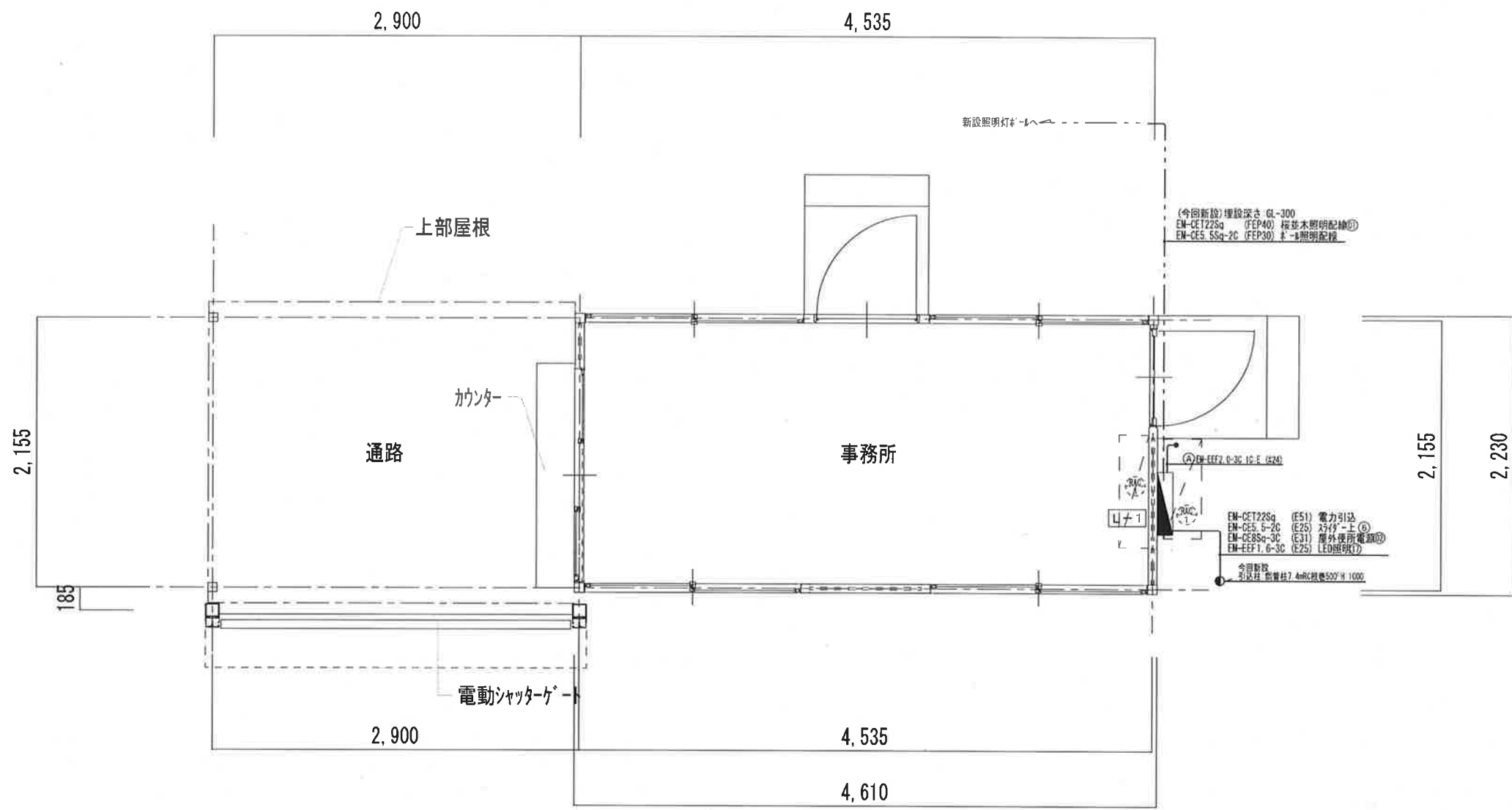


電灯盤(L-1)

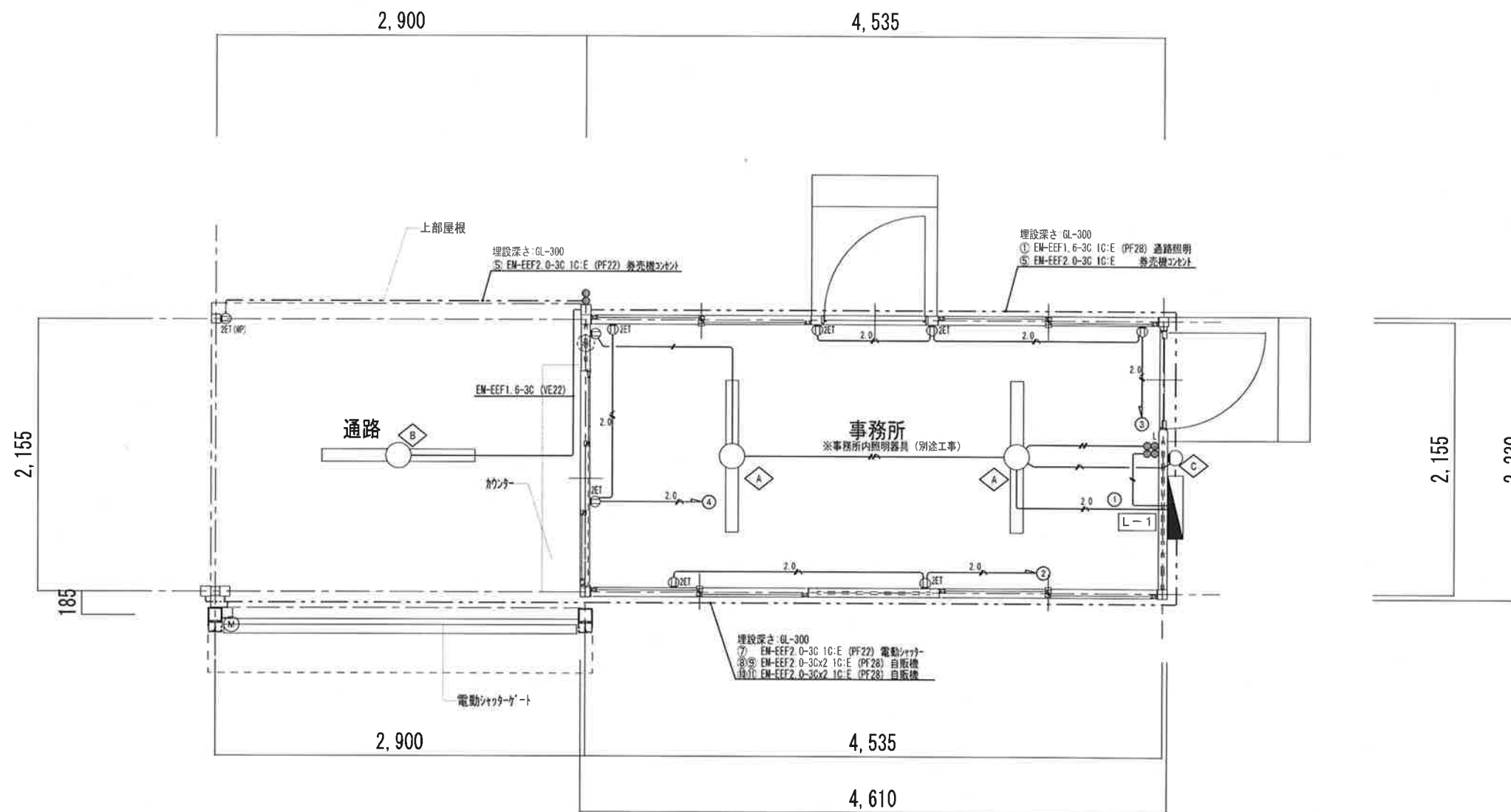


端子盤(T-1)

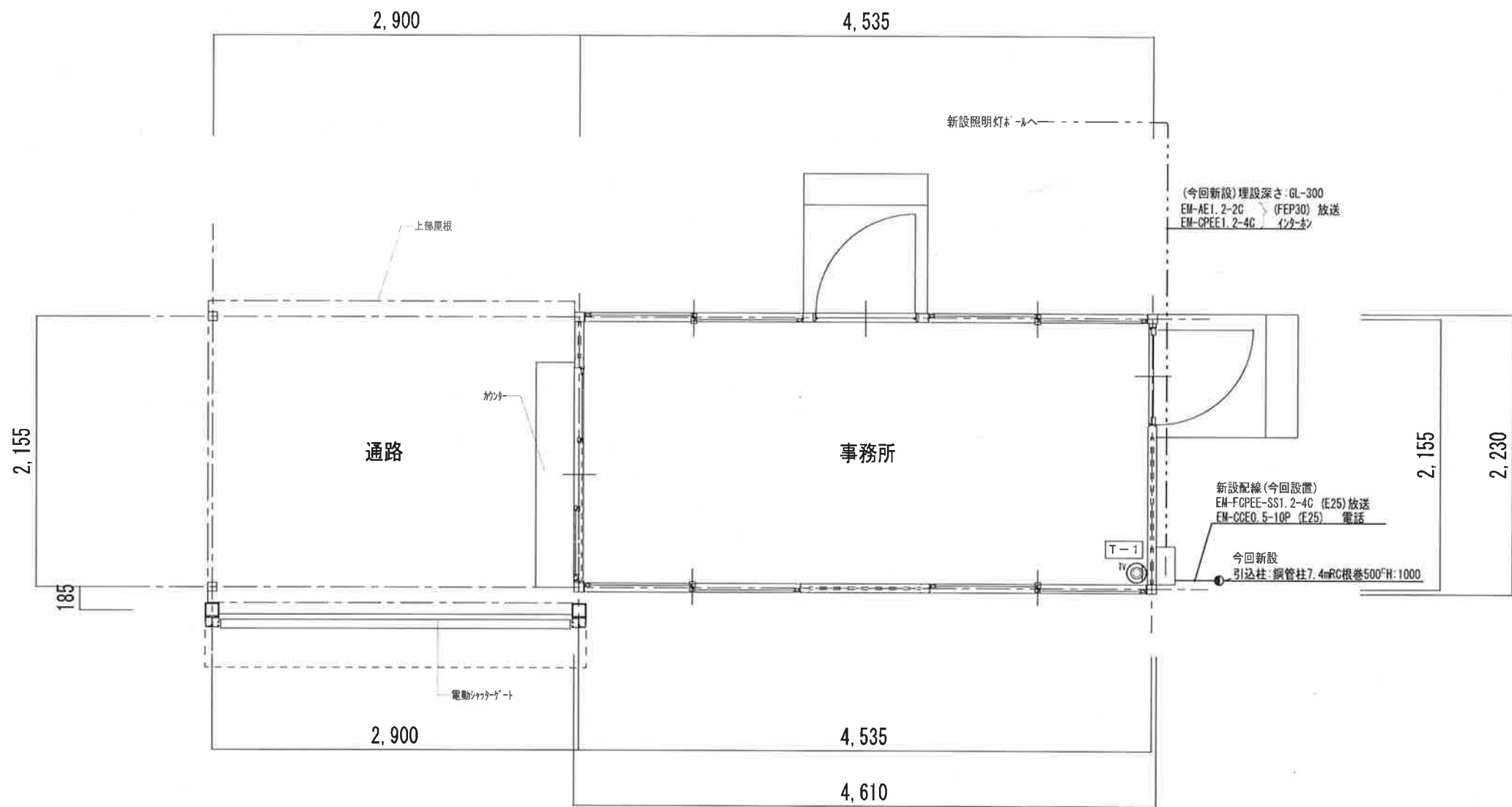
A LED照明器具	※建築工事	B iDシリーズ直付型40形 iスタイル 防湿型・防雨型
		<p>一般タイプ、4000lmタイプ 交換品あり、電圧100~242V 本体、ステンレス(高圧耐食性樹脂塗装) 取付部・取付台ライトバー(カバー) ポリカーボネート(乳白) 光源寿命 40000時間 昼白色(5000K) R=83, IP23防湿型</p> <p>パナソニック 直付XLW443NENKLE9</p>
C LEDポーチライト 40形電球1灯器具相当	D LEDスポットライト 水銀灯250形相当	
		<p>電球色(2700K)、R=83 器具高さ300mm、消費電力6W、電圧100V 一般タイプ、熱線・明るさセンサー付、防雨型、ツマミネジ方式 本体、プラスチック(ホワイト) カバー、アクリル(乳白) 点灯時間調整機能付</p> <p>パナソニック LGWC80350LE1</p>
		<p>昼白色、5000K、R=85 器具高さ300mm、消費電力9.1W、電圧100~242V 一般タイプ、全周照射型の照射、光源寿命30000時間 本体、アルミダイカスト(ミチアールメタリック) カバー、ポリカーボネート(透明・乳白) 器具サイズφ56mm、設置高さ60mm 電球形状器具内収納可能、電源内蔵型(4.9kg)</p> <p>パナソニック NNY24925LE9</p>



平面図 S:1/30



平面図 S:1/30



平面図 S:1/30